



SIC ANNUAL REPORT 2022

令和 4 年度事業報告

令和 5 年8月31日



株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd.

INDEX

1 インキュベーション施設と入居企業

ーラボ・オフィスー

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 1 SIC-1 | p 1. 2 |
| 2 SIC-2 Creation Lab. / R&D Lab. | p 3. 4. 5. 6 |
| 3 SIC-3 | p 7. 8 |
| 4 EN-Garege | p 9 |
| 5 SIC 全体 | p 10. 11 |

2 SIC 実施事業

ー経営サポートー

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1 企業支援 | p 1 2 |
| 2 セミナー | p 1 3. 1 4 |
| 3 さがみはら表面技術研究所 | p 1 5 |
| 4 海外展開支援事業
(台湾ビジネスサポート事業) | p 1 6 |

ープロジェクトー

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 5 産業用ロボット導入支援事業 | p 1 7. 1 8. 1 9. 2 0 |
| 6 DX化推進支援事業 | p 2 1 |
| 7 首都圏南西地域連携サポート事業 | p 2 2 |

ー人材育成ー

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 8 SIC 経営塾 | p 2 3 |
| 9 SIC 職場リーダー養成塾 | p 2 4 |
| 10 子どもアントレ | p 2 5 |
| 11 アントレ・チャレンジ | p 2 6 |
| 12 サガツクナビ
(地元企業と学生との出会いをつなぐ) | p 2 7 |
| 13 マネジメント人材育成 | p 2 8 |

3 SIC 会社概要

- | | |
|----------------------|-------|
| 1 さがみはら産業創造センターの歩み | p 2 9 |
| 2 主な事業と開始年度 (カテゴリー別) | p 3 0 |
| 3 財務状況 | p 3 1 |
| 4 競争的資金の獲得 | p 3 2 |
| 5 スタッフ数の変遷 | p 3 3 |
| 6 支援ネットワーク | p 3 3 |
| 7 視察・研修 | p 3 4 |
| 8 メディア掲載 | p 3 5 |
| 9 広報紙「かわらばん」の発行 | p 3 6 |
| 10 株主と役員 | p 3 7 |

1-1-1

SIC - 1 Startup Lab. (インキュベーションセンター)

入居対象

<新規創業者>

- ・創業準備中または創業間もない企業および個人
- ・研究開発により、新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す創業間もない企業および個人

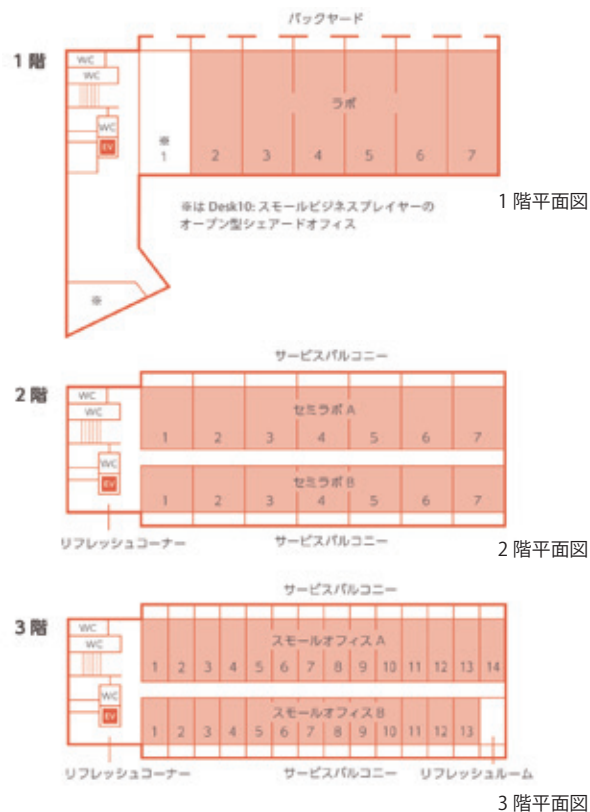
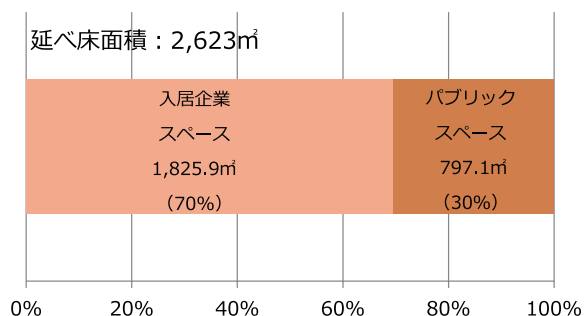
<企業>

- ・新分野進出により経営基盤の強化を目指す中小企業
- ・研究開発により新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す中小企業

入居期間

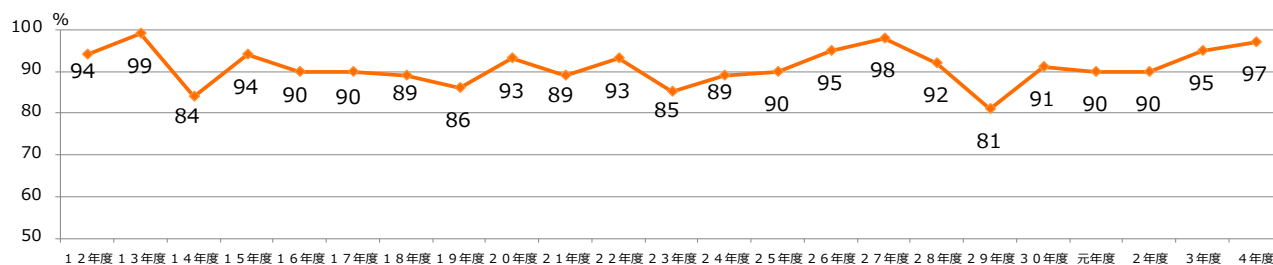
3年間(2年間の再契約が2回可)

施設概要



	ラボ	セミラボ A	セミラボ B	スモール オフィス A	スモール オフィス B
設置階	1 階	2 階		3 階	
部屋数	6 室	7 室	7 室	14 室	13 室
床面積	94.5㎡	47.3㎡	31.5㎡	23.6㎡	17.3㎡

入居率 (賃料ベース)

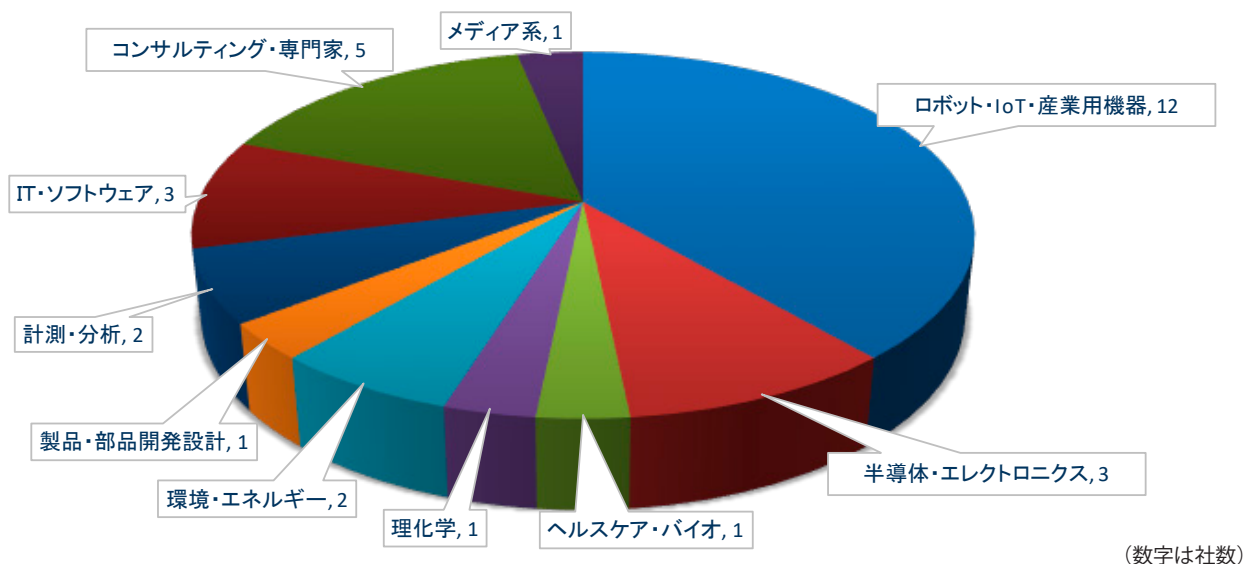


1-1-2

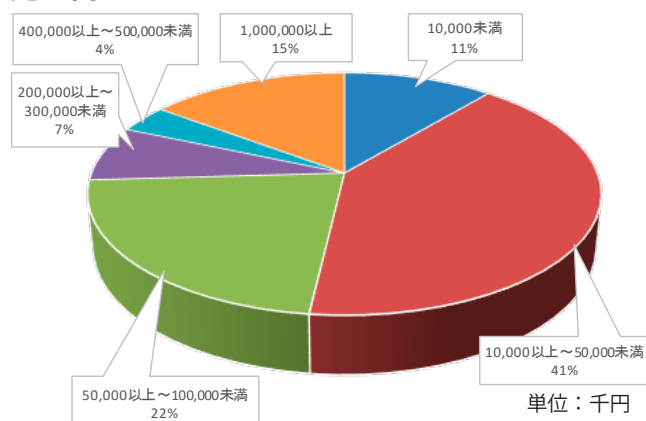
S I C - 1 Startup Lab.

入居企業データ (令和5年3月末)

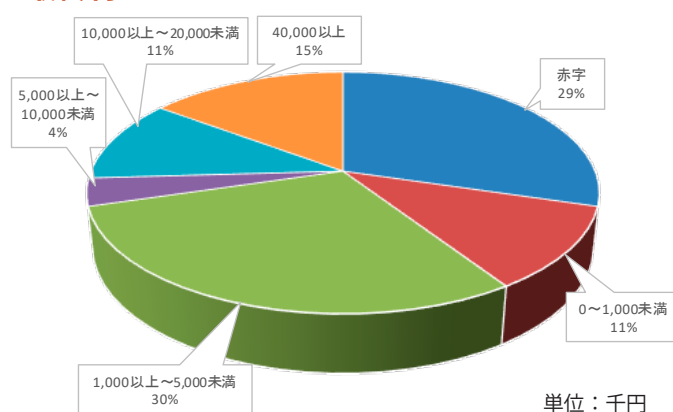
業種



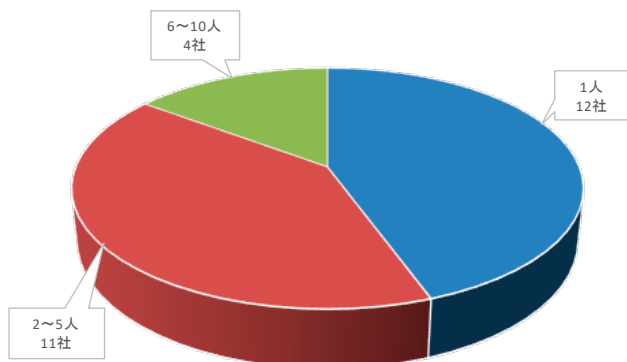
売上高



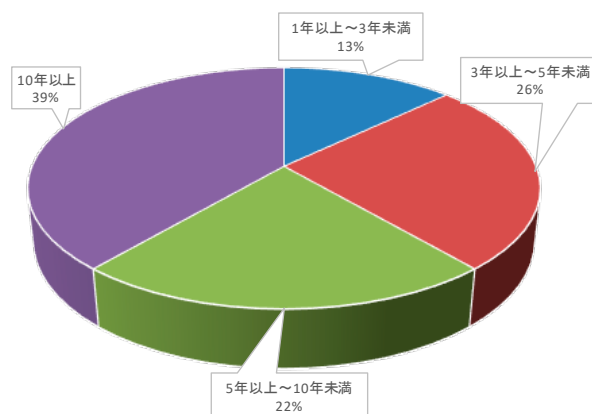
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計	36,339,179 千円
雇用者合計	27 社 82 人

1-2-1

SIC - 2 Creation Lab. (ポストインキュベーションセンター)

入居対象

<企業>

- ・創業期を経てさらなる規模拡大を目指す企業
- ・新分野進出によりさらなる規模拡大を目指す企業
- ・優れた技術・サービスを保有し、株式公開を目指す企業
- ・企業の研究開発部門

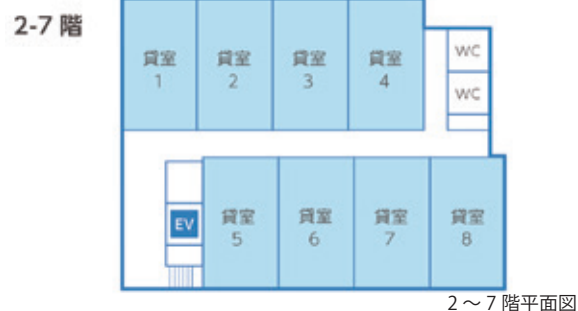
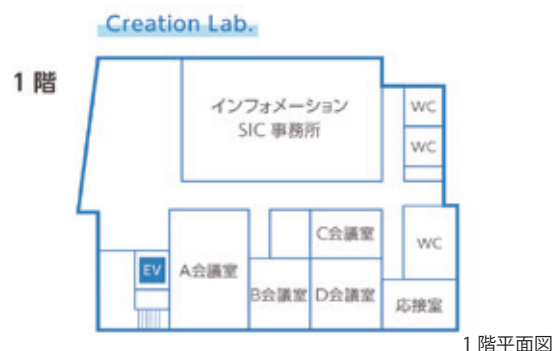
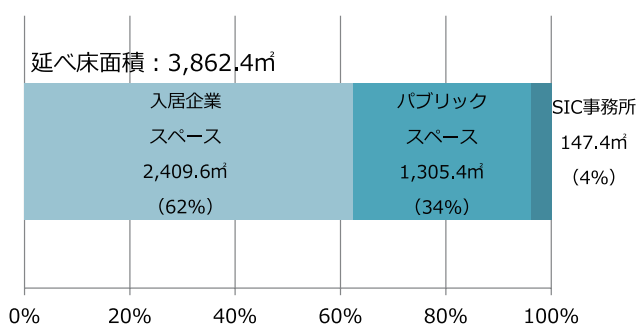
<産学連携企業等>

- ・産学連携による事業化を目指し、共同研究開発を行うグループ、企業、研究者等
- ・大学発の技術を活用し、事業化を目指すグループ、企業、研究者等
- ・大学研究室

入居期間

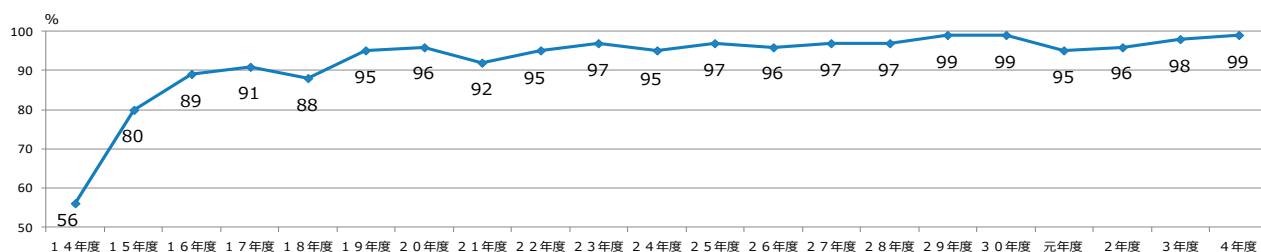
3年間（再契約可能）

施設概要



	セミラボ	オフィス
設置階	2～4階	5～7階
部屋数	24室	24室
床面積	50.2㎡	50.2㎡

入居率 (賃料ベース)

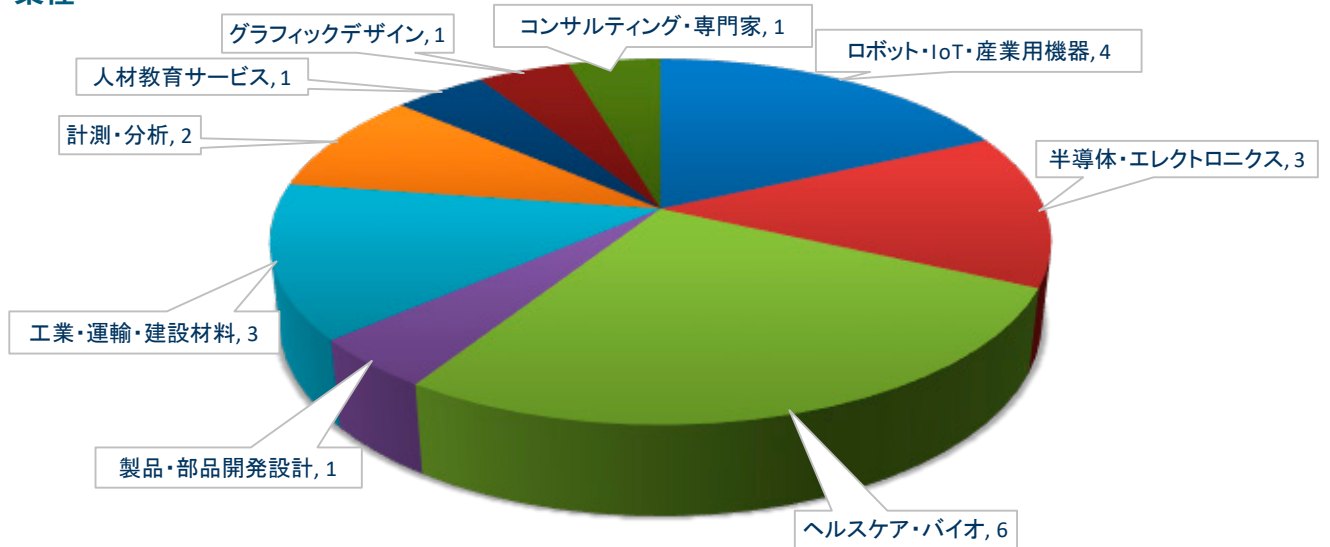


1-2-2

SIC - 2 Creation Lab.

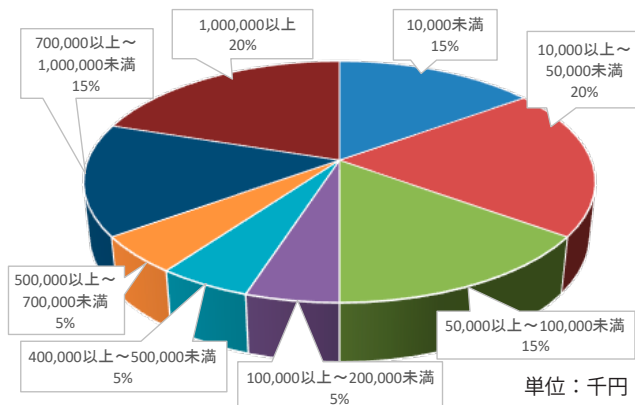
入居企業データ（令和5年3月末）

業種

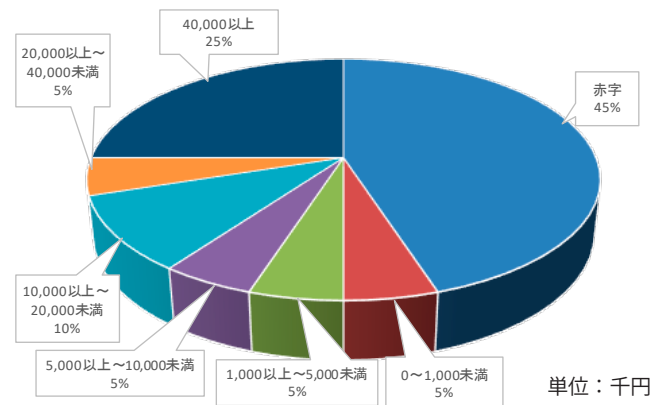


（数字は社数）

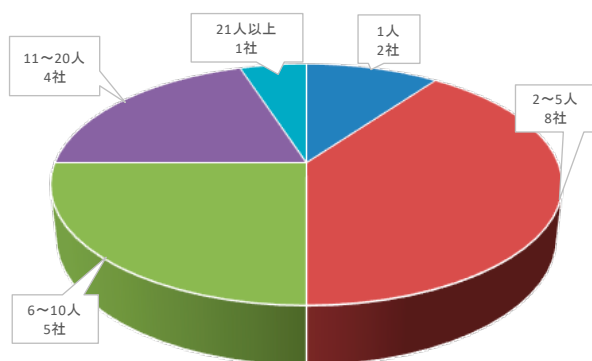
売上高



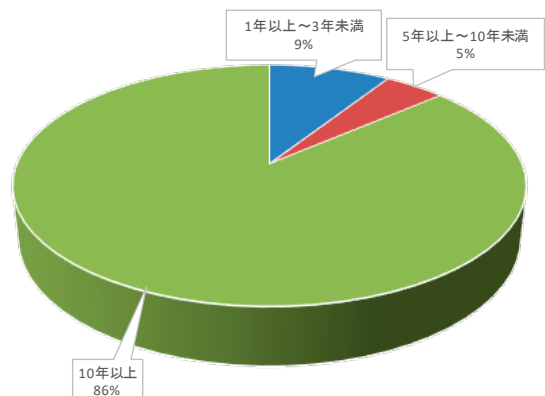
最終利益（税引き後利益）



雇用



創業年数



売上高合計 26,008,286 千円

雇用者合計 20 社 147 人

1-2-3

SIC - 2 R&D Lab. (ポストインキュベーションセンター)

入居対象

<企業>

- ・インキュベーション施設での創業期を経て、さらなる規模拡大を目指す企業
- ・新技術や新製品の研究開発を進め、さらなる規模拡大を目指す企業
- ・新分野進出によりさらなる規模拡大を目指す企業
- ・企業の研究開発部門

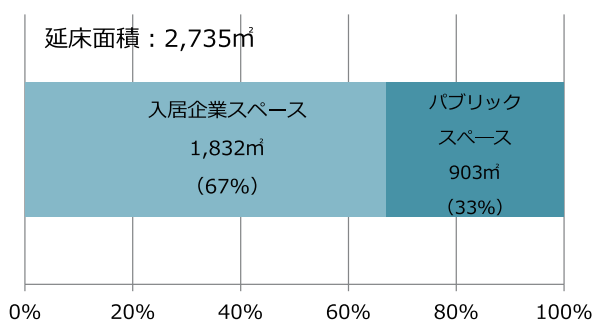
<産学連携企業等>

- ・大学や企業間の連携による事業化を目指して共同研究開発を行うグループ

入居期間

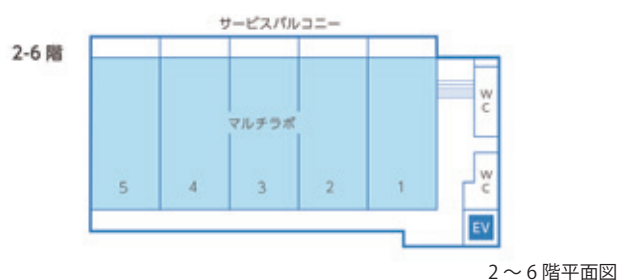
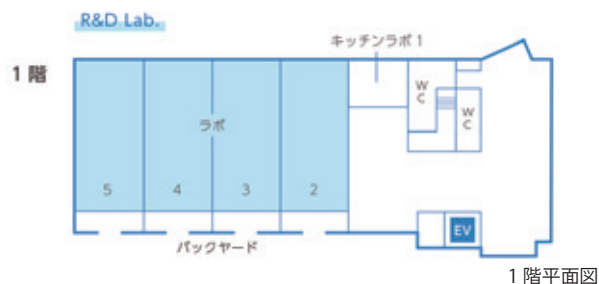
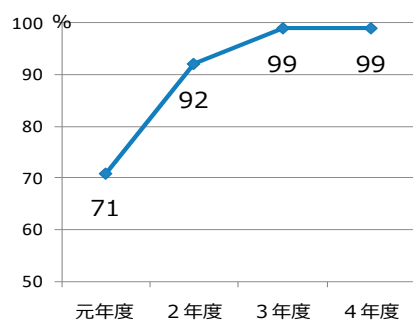
5年間（再契約可能）

施設概要



	ラボ	マルチラボ
設置階	1 階	2 ～ 6 階
部屋数	4 室	25 室
床面積	63.2㎡	63.2㎡

入居率 (賃料ベース)

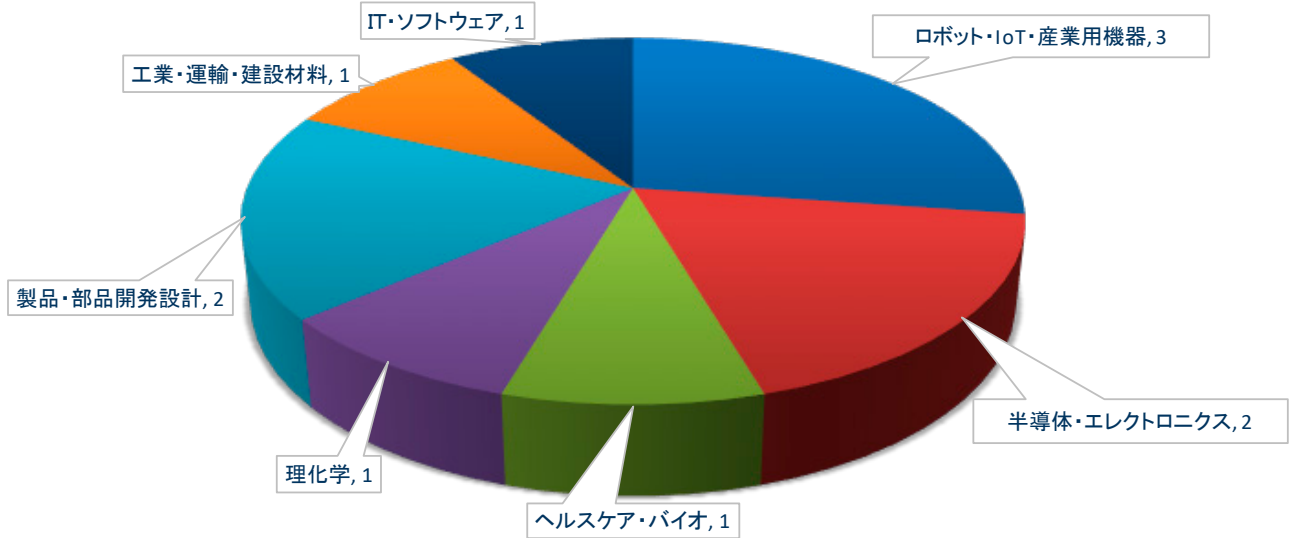


1-2-4

SIC - 2 R&D Lab.

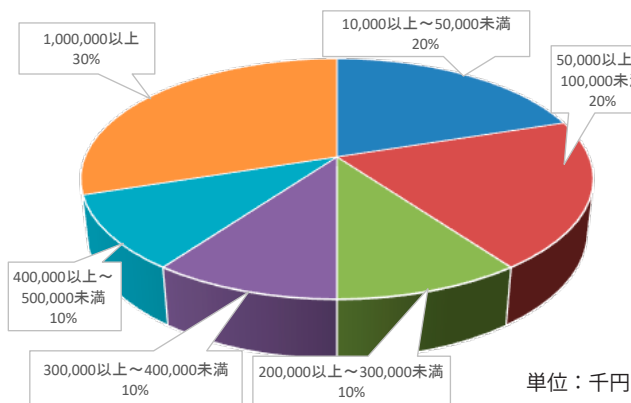
入居企業データ（令和5年3月末）

業種

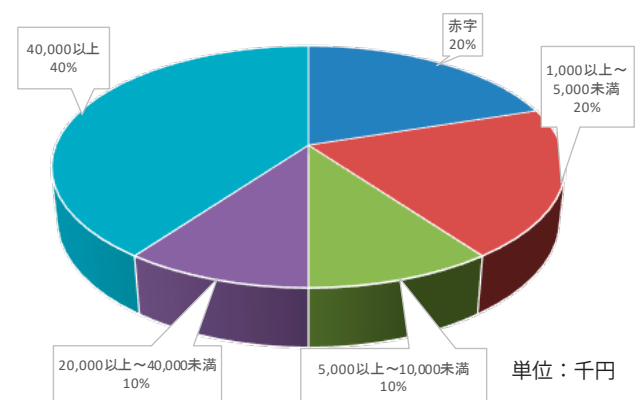


(数字は社数)

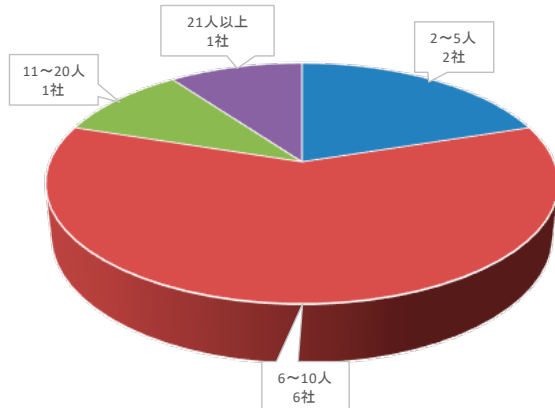
売上高



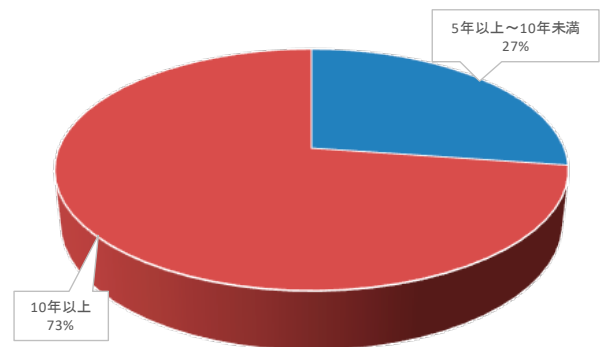
最終利益（税引き後利益）



雇用



創業年数



売上高合計 34,612,722 千円

雇用者合計 10 社 101 人

※上場企業除く

1-3-1

S I C - 3 Innovation Lab. (ポストインキュベーションセンター)

入居対象

<企業>

- ・インキュベーション施設での創業期を経て、更なる規模拡大を目指す企業
- ・独創的な技術により、更なる規模拡大を目指す地域の中小企業

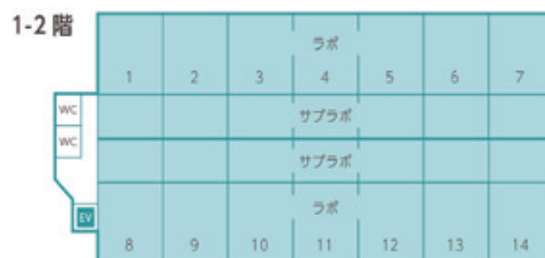
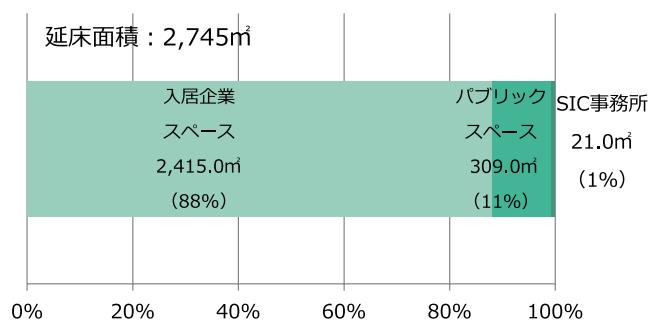
<産学連携企業等>

- ・大学や企業間の連携による事業化を目指して共同研究開発を行うグループ

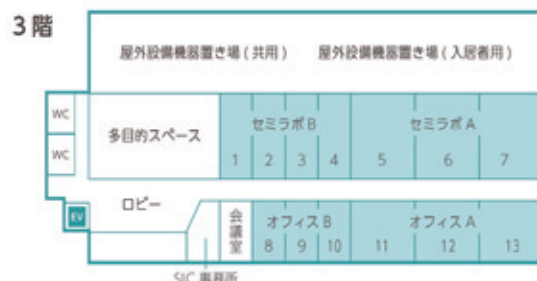
入居期間

5年間（再契約可能）

施設概要



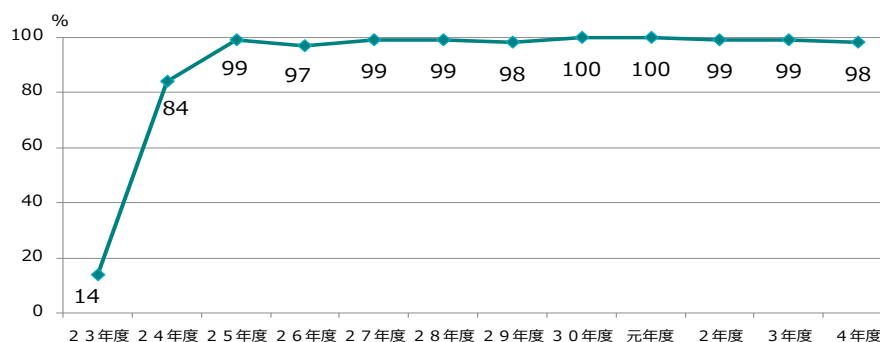
1 階、中 2 階平面図



3 階平面図

	ラボ	セミラボ A	セミラボ B	オフィス A	オフィス B
設置階	1 階 : 中 2 階		3 階		
部屋数	14 室	3 室	4 室	3 室	3 室
床面積	84㎡ : 28㎡	56㎡	28㎡	42㎡	21㎡

入居率 (賃料ベース)

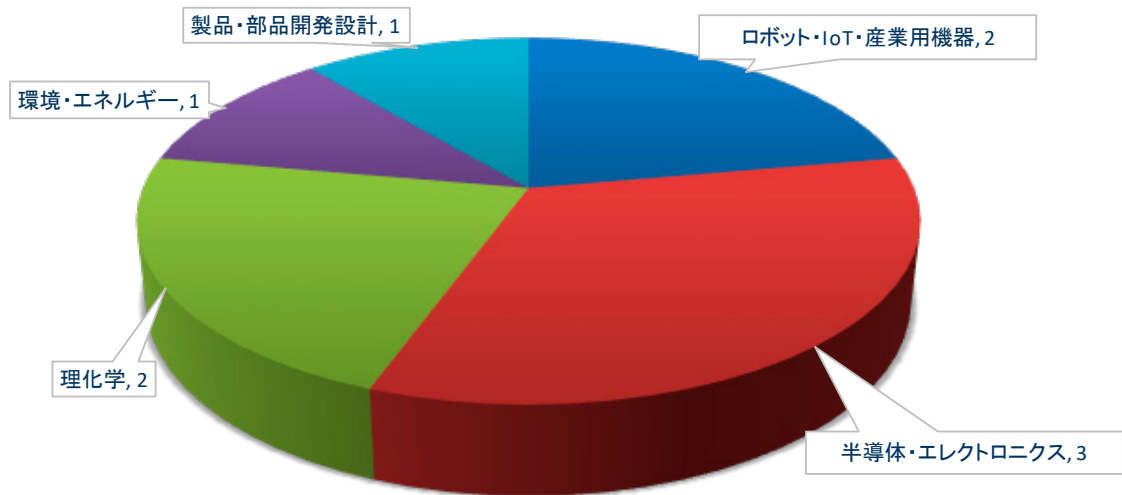


1-3-2

S I C - 3 Innovation Lab.

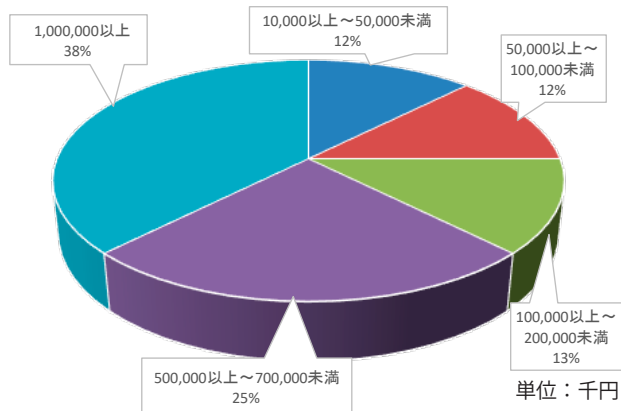
入居企業データ（令和5年3月末）

業種

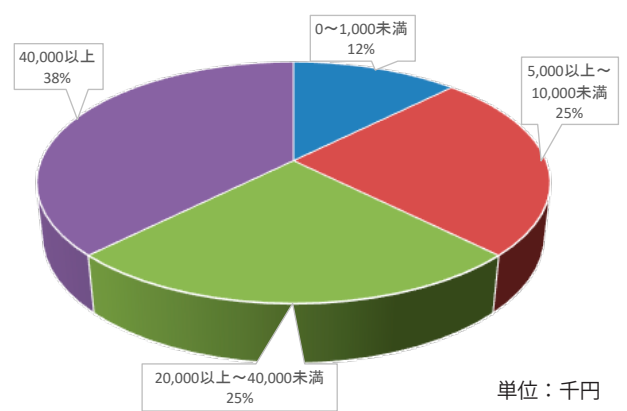


(数字は社数)

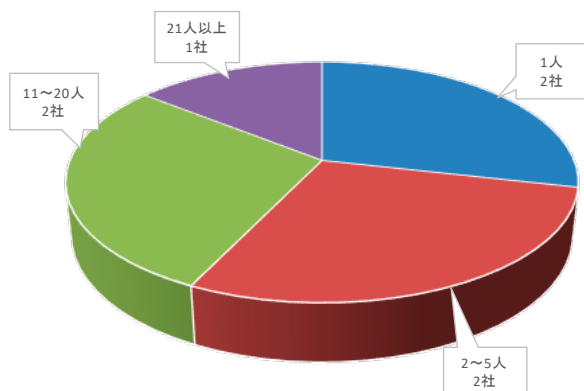
売上高



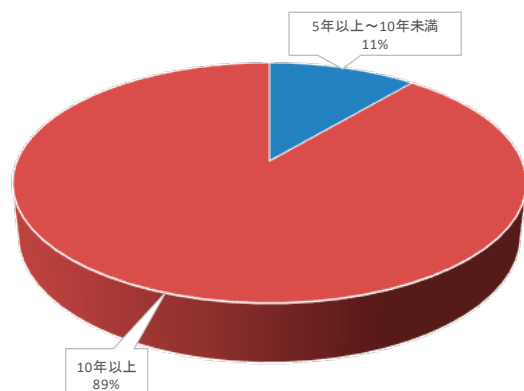
最終利益（税引き後利益）



雇用



創業年数



売上高合計	9,925,457 千円
雇用者合計	7 社 80 人

1-4

EN-Garege (創業者向けシェアサービス)

EN-Garege (エン・ガレージ) は創業者または創業準備者向けにビジネスの執務環境を提供するサービスです。

Desk ⑩

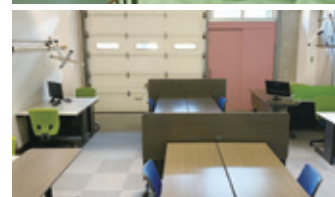
Desk ⑩はデスクワーク利用に最適で、オフィス環境をシェアすることでリーズナブルな料金となっています。リモートワークの場所としても利用可能です。

Fab ⑩

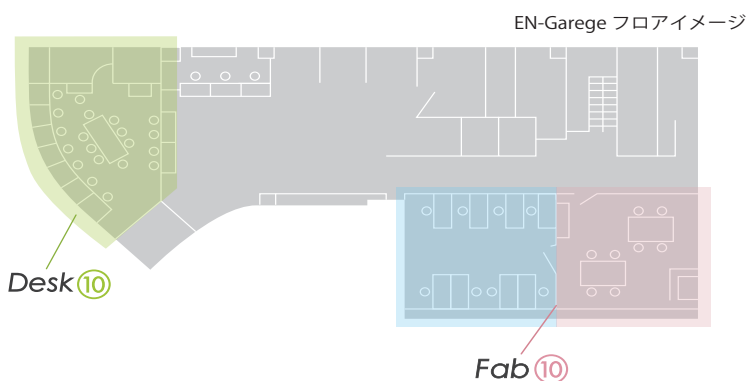
Fab ⑩ではものづくり環境を提供します。軽微な組み立てや評価・検査などのスペースとして、また、設計業務などを行うプランニングエリアも整えています。



Desk ⑩

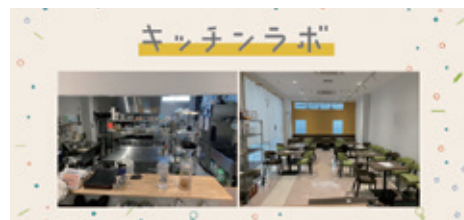


Fab ⑩

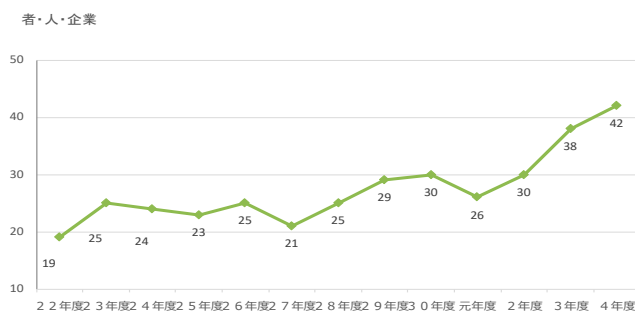


キッチンラボ

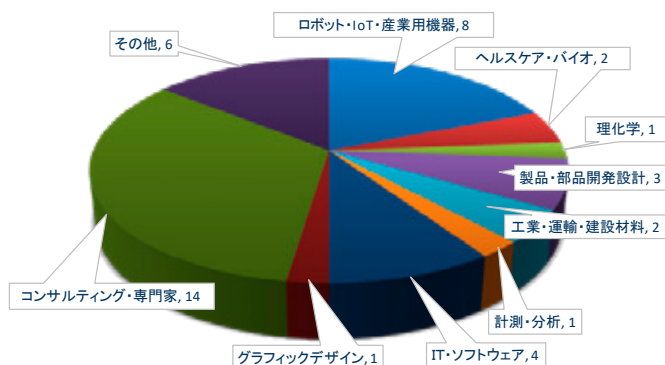
創業者向けシェアサービスの一環として“キッチンラボ”を運営しています。キッチンラボは、これから飲食店の開業を目指す方に短期間でのご利用が可能です。開業前のメニュー試作やオペレーションの試行をすることで、本格的な開業を円滑化させ、地域内の繁盛店創出に貢献します。



会員数



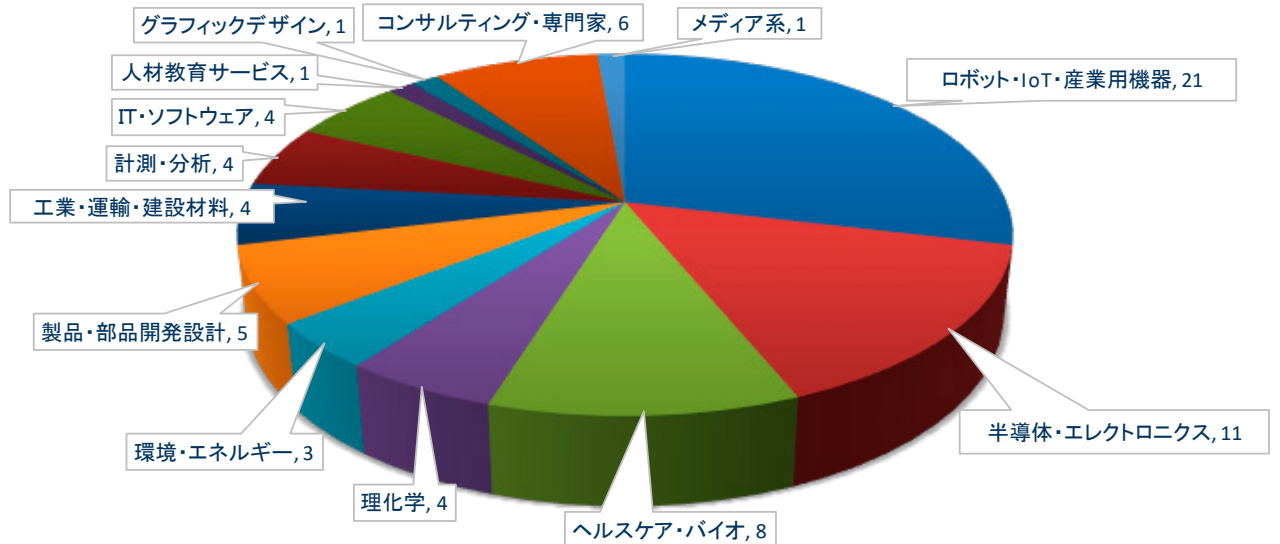
業種



1-5-1

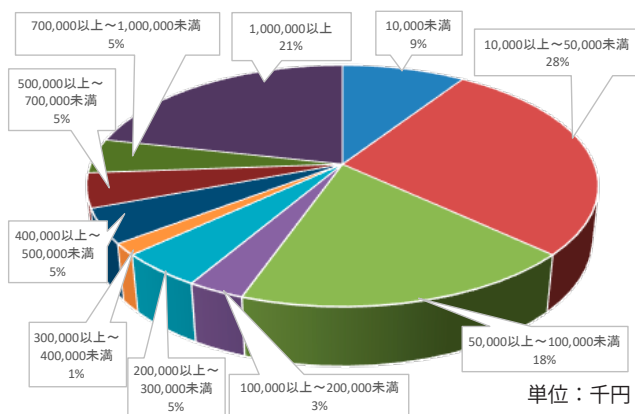
SIC全体 入居企業データ (令和5年3月末)

業種

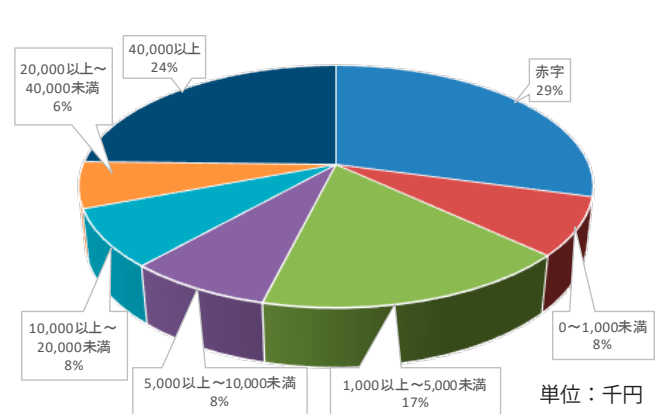


(数字は社数)

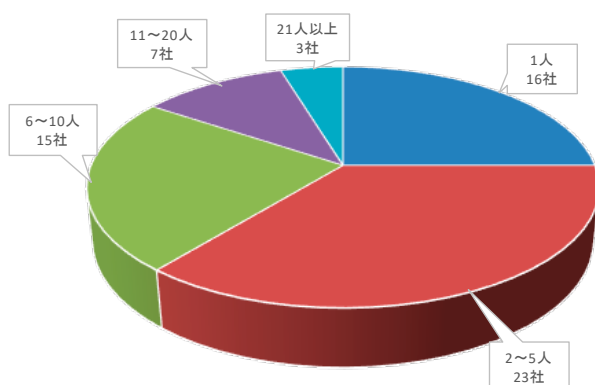
売上高



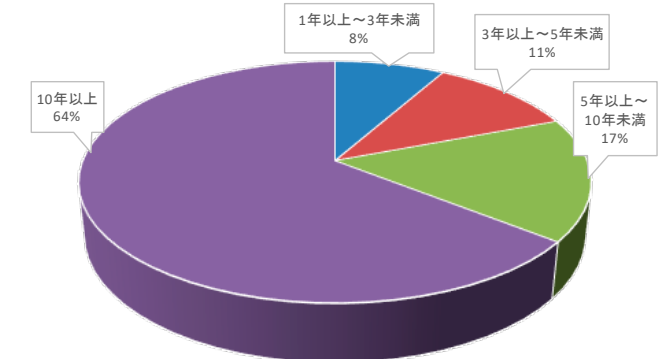
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計 106,885,694 千円

雇用者合計 64 社 410 人

※上場企業除く

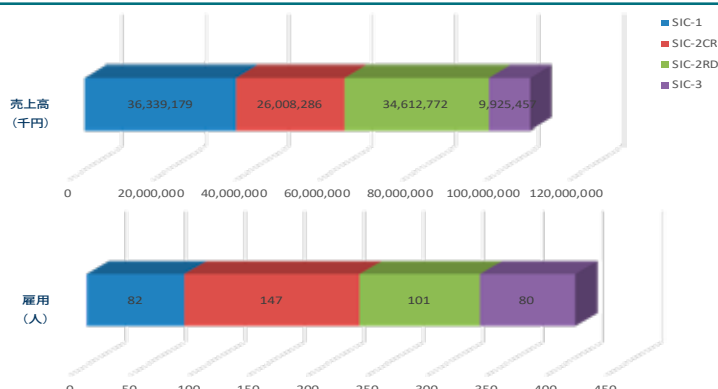
1-5-2

SIC全体

入居企業データ (令和5年3月末)

売上高 106,885,694 千円
(上場企業除く)

雇用 410 人



知的財産 (令和4年度内)

	特 許		実用新案		意 匠		商 標	
	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数
出願数	5	15	0	0	1	1	2	5
うち海外	2	2	0	0	0	0	0	0
権利化数	3	6	0	0	0	0	3	6
うち海外	0	0	0	0	0	0	0	0

研究開発補助金◇展示会出展◇新製品・新サービス (令和4年度内)

研究開発補助金 6 社 8 件

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金、令和4年度 AI 等先端技術活用型研究開発事業、令和4年度埼玉県次世代ものづくり技術活用製品開発費、基盤技術産業高度化支援事業補助金、令和3年度中小企業経営支援等対策費補助金、NEDO プロジェクト、DX 化促進支援補助金、相模原市中小企業研究開発補助金

展示会出展 (海外開催含む) 21 社 41 件

オートモティブワールド、2022 国際ウエルディングショー、高分子学会、OPIE22、コーティング・ジャパン東京、2022IEFE STANDARDS ASSOCIATION、国際養鶏養豚総合展 2022、東京ケアウィーク 23、インターネブコンジャパン、食品開発展、Bio Japan、ロボデックス、新技術創出交流会説明会 2022、Robot Technology Japan2023、テクニカルショウヨコハマ 2023、メンテナンス・レジリエンス 2022、西武信金第 22 回ビジネスフェア、OPIE、テクノフロンティア、Applied Superconductivity Conference、JIMTOF2022、日本薬学会、コーティング・ジャパン大阪、第 2 回スマートシティ推進 EXPO、機械要素技術展、JR 東海オープンイノベーション in さがみはら 2022、MEX 金沢 2022、Japan Robot Week2022、映像 EXPO、画像センシング展、低温物理学国際会議、第 4 回国際畜産資材 EXPO、ナカネット展示会 2022、ロボット・航空宇宙フェスタふくしま 2022、ワイヤレスジャパン 2022、国際画像機器展、低温工学超電導学会、SECURITY SHOW2022、エーディエステックイメージングフェア

新製品・新サービス 16 社 25 件

水・汚泥分析サービス、自動微量炭化装置、サイクロミックス・エボ、かんたん監視ソリューションサービス、Care Vision 1313HR、検診メーター検知システム、ハーネスノーティファイ、化粧品原料天然ワックス、MXS030DCV2 (モータドライバ)、IRB1010 小型ロボット、電磁鋼板圧着用塗料、プライベート LET、オートケミカル関連商品 12 品上市、TESchedule、SLG-450TSL シリーズ、リアルタイム異物検出装置、プリマ 01D100、化粧品原料植物生体水、YD2430B1 (モータドライバ)、AMR 自動走行装置、ローカル 5G、防腐防カビ剤関連商品 1 品上市、SLG-600V2 シリーズ、ゴムのコンパンド原料、封止材原料

2-1

経営サポート

企業支援

事業の目的

創業や新分野進出に意欲的な入居企業や地域企業の様々な経営課題を解決する。

▶ 経営課題支援の内容

対 象：入居企業・地域企業

支援手法：インキュベーションマネージャーとメンター、アドバイザー、専門家等が連携した支援

協力機関：きらぼし銀行

支援契約数：業務委託契約 24 社、顧問契約 12 社（入居企業 9 社、地域企業 3 社）

支 援 内 容	入 居 企 業 数	地 域 企 業 数	計
顧問契約	9 社	3 社	12 社
業務委託契約			
Web サイト制作・動画制作・デザイン支援	—	3 社	3 社
特許・商標等取得	1 社	1 社	2 社
製品・技術開発支援	1 社	—	1 社
生産性向上支援	—	1 社	1 社
販路・パートナー探索	1 社	1 社	2 社
人材育成支援	1 社	—	1 社
補助金申請サポート	1 社	1 社	2 社
（業務委託契約小計）	（5 社）	（7 社）	（12 社）
合 計	14 社	10 社	24 社

2-2-1

経営サポート

セミナー（１）

事業の目的

入居企業や地域企業に経営のヒントを提供する。

対 象：入居企業・地域企業

実施事業	参加人数	具 体 的 内 容
経営力アップ セミナー (経営者セミナー)	55 名	テーマ：「インボイス制度・電帳法改正への対応はお済みですか？ ここから始める中小企業のデジタル化」 講 師：第 1 部 TITC 合同会社 代表社員 富田 良治 氏 第 2 部 辻・本郷税理士法人 DX 推進室 / 税理士 菊池 典明 氏 第 3 部 株式会社ラクス 楽楽販売事業部 プロモーション課 パートナーセールスリーダー 今橋 貴広 氏 日 時：令和 4 年 11 月 2 日（水） 場 所：オンライン開催 
ミニセミナー	12 名	The HINT 55 テーマ：相模原市 支援制度説明会 講 師：相模原市 産業支援課 日 時：令和 4 年 5 月 11 日（水） 場 所：オンライン開催 
	12 名	The HINT 56 テーマ：共同開発を成功に導く!! 押さえておきたい“共同開発契約”のポイント 講 師：弁護士法人高瀬総合法律事務所 代表弁護士 高瀬 芳明 氏 日 時：令和 4 年 10 月 5 日（水） 場 所：オンライン開催 
	10 名	The HINT 57 テーマ：“わからないまま放置”は厳禁!! 不安解消！インボイス制度＆電子帳簿保存法 講 師：川津公認会計士事務所 代表 川津 文武 氏 天野俊裕税理士事務所 代表 天野 俊裕 氏 日 時：令和 4 年 11 月 22 日（火） 場 所：さがみはら産業創造センター 会議室 A 

2-2-2

経営サポート

セミナー（2）

実施事業	参加人数	具 体 的 内 容
ミニセミナー	27 名	The HINT 58 テーマ：支援機関&大学発ベンチャーに聞く“産学連携”成功への道筋 講 師：第 1 部 一般社団法人 首都圏産業活性化協会 第 2 部 国立研究開発法人 科学技術振興機構 第 3 部 株式会社 SUNAMI(東海大学発ベンチャー) 第 4 部 金融機関（横浜銀行・きらぼし銀行・日本政策金融公庫） 日 時：令和 4 年 12 月 8 日（木） 場 所：オンライン開催 
	10 名	The HINT 59 テーマ：自社の強みや可能性を守る“営業秘密管理” 講 師：INPIT 知的財産戦略アドバイザー 小高 邦夫 氏 日 時：令和 5 年 3 月 13 日（月） 場 所：さがみはら産業創造センター 会議室 A 

2-3

経営サポート

さがみはら表面技術研究所

事業の目的

地域企業と大学・研究機関の連携・交流機能を整備・運用し、企業の技術的な強みを活かした事業開発に貢献する。

▶ 活動実績

活動内容
1 補助金申請支援・事業化フォローアップ等
2 技術支援・コーディネート等



▶ 活動実績 事例

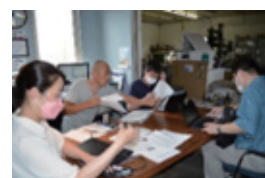
1. 補助金申請支援・事業化フォローアップ等

- ① ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（令和元年度補正・中小企業庁）では、事業計画の立案から関わり、申請書作成の支援を行った。また補助事業採択後は、補助事業遂行のためのアドバイスや完了報告書作成のサポートなど、多岐にわたる業種の中小企業に対し支援を行った。事業終了後には、事業化状況報告書の作成支援や事業化のアドバイスをを行った。
- ② 事業再構築補助金（経済産業省）の申請に向け、相談対応、事業計画の立案、申請書作成の支援を行った。また補助事業採択後には、補助事業遂行のためのアドバイスや完了報告書作成のサポートを実施した。
- ③ 輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業（農水省）における事業計画の立案・申請支援を行った。補助事業採択後は補助事業遂行のためのアドバイスや補助事業完了後のサポートを行った。
- ④ 産地パワーアップ事業（農水省）の申請に向け、現地を訪問し関係自治体らと面談、事業実施予定場所の視察等を行った。また、事業化時の構想およびブランディング等について立案し、アドバイスをを行った。



2. 技術支援・コーディネート等

- ① 糸魚川鉄道ジオパークの鉄道模型における画像送信システムの不具合について、原因究明のための基礎実験を実施し、技術報告書を作成するなど、現地に技術的アドバイスをを行った。
- ② 当所のシェアラボに、研究開発型事業者が保有する分析装置の設置・活用を支援し、生産性向上に寄与した。
- ③ オンラインを活用し、ものづくり・サービス等様々な事業者へ新規事業のためのアドバイスをを行った。
- ④ 展示会発表に向けた新製品モックアップ発表及びそのキー技術について、技術開発者・工業デザイナーとのマッチング、定期的な開発会議のセッティング、技術コンサルティング等を行った。
- ⑤ 中小企業の抱える各種課題解決に向けて、定期的にコンサルティングを行い、新製品開発の推進、技術者マッチング、技術課題解決のための提案等を行った。
- ⑥ 大規模集合住宅等向けとなる外壁タイルの新規補修施工法について、建設技術審査証明取得のための申請支援、および新施工法のマニュアル作成の支援を行った。



2-4

経営サポート 海外展開支援事業（台湾ビジネスサポート事業）

事業の目的

地域企業が継続的に発展するために海外展開をサポートする。海外へ比較的強い販売力を持つ企業が多く、日本とのビジネスの実績が十分にある「台湾」で、或いは台湾経由による他の国々でビジネスを発展・成長させていく。

事業内容

個別支援（日本企業）

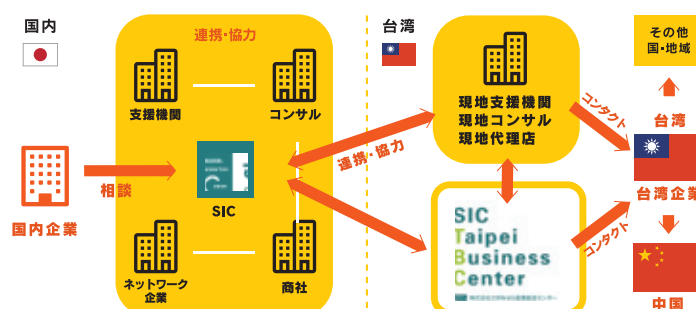
- ・半導体製造用治工具の台湾 OEM メーカー及び台湾貿易会社探索による台湾調達相談
- ・半導体製造装置関連試作部品の台湾 OEM メーカー探索による台湾調達相談
- ・半導体製造装置関連量産部品の台湾 OEM メーカー探索による台湾調達相談
- ・半導体の台湾貿易会社探索による調達相談
- ・食品製造装置の台湾代理店探索による台湾販路開拓相談
- ・医療商材の台湾コンサルタント経由による台湾販路開拓相談
- ・収納用品の台湾販売代理店探索による台湾販路開拓相談
- ・生活雑貨の台湾代理店探索による台湾販路開拓相談
- ・日用雑貨の台湾貿易会社経由による台湾販路開拓相談
- ・家具の台湾代理店及び台湾貿易会社探索による台湾販路開拓相談
- ・中国語通訳相談
- ・PR ツールの中国語翻訳相談
- ※台湾企業からの個別相談あり
- ・PC 周辺機器の日本代理店経由による日本販路開拓相談
- ・端末の日本代理店経由による日本販路開拓相談

顧客の声

- ・受託開発や OEM 生産、販路開拓など受発注先がみつかった。
- ・大手企業との提携を実現できた。
- ・海外現地法人を設立するきっかけづくりになった。
- ・素早い意思決定や行動力とそれを実現する組織づくりの重要性を知った。
- ・自社の技術や製品が海外でも十分に通用することが分かった。

運営体制

SIC では、国内の支援機関や商社、ネットワーク企業等の連携や協力だけでなく、『SIC 台北ビジネスセンター』による独自のネットワークを活用し、台湾現地の支援機関やコンサルティング会社、代理店との連携・協力を行いながら、支援体制を構築している。



2-5-1

プロジェクト

産業用ロボット導入支援事業

事業の目的

製造業やその他業種へのロボット導入を支援するとともに、ロボット産業に関連した人材や企業のさらなる集積と高度化を図りながら、相模原市内企業の生産性及び付加価値の向上を実現するために実施している。



概要

(1) さがみはらロボット導入支援センターの運営

「産業用ロボットの紹介やロボット導入の相談」などを行う場として、「さがみはらロボット導入支援センター」の運営を行った。

○来所者実績

317 団体・541 名

※累計実績（平成 25 年 9 月～令和 5 年 3 月）

2,571 団体・6,945 名



(2) 自動化相談・コンサルティング

自動化・ロボット導入等を通して課題解決を検討している企業からの相談業務を実施した。

○相談件数

51 件（うち 窓口相談 27 件、出張相談 24 件）



(3) ロボットユーザ向け育成・啓発講座「他人事じゃない！工場の情報セキュリティ」

ロボットの活用を含む DX の推進が叫ばれる一方で中小製造業のセキュリティリスクが高まっており、顧客情報や生産データ、技術・ノウハウなど企業競争力の源泉である情報資産に関して、適切なセキュリティ対策を講じることが求められている。そこで、「工場の情報セキュリティ対策」をテーマに取り上げ、参加企業の情報資産やリスクを洗い出し、情報の守り方を考えるセミナーを開催した。

○開催概要（受講者：10 社・12 名）

日 時：令和 5 年 2 月 2 日（水）13 時 30 分～17 時

会 場：サン・エールさがみはら（2 階・第 1 研修室）

内 容：中小製造業におけるセキュリティ対策の基本
情報資産の洗い出し&セキュリティ対策の検討

講 師：株式会社 CISO 代表取締役 那須 慎二 氏



2-5-2

プロジェクト

産業用ロボット導入支援事業

(4) ロボットSler養成講座

(受講者：本科生8社・10名、単科生2社・2名、学生1大学・3名、修了生4社・4名)

ロボットシステムの構想・設計・製作等を担うSler企業を主な対象として、実際の自動化案件を題材とした実践的なプログラムによりSlerに求められる構成力や提案力、専門性を磨くことを目的とした講座を実施した。

令和4年度の新たな取り組みとして、事前講義（オンデマンド講義）を1科目より受講できる「単科生制度」を導入した。本制度によって、スケジュールの都合によりすべての講義には参加できない企業であっても、本講座を活用することができた。また、学生（大学・高専生等）は『ロボットSler業務への理解・関心が深まること』、過去の受講生（修了生）には『受講企業間のネットワーク形成を図ること』を目的に、無料で単科受講できる制度設計とした。

○開催概要

期 間：令和4年9月5日（月）～
令和4年11月15日（火）
場 所：【前期】サン・エールさがみはら
【中期・後期】オンライン（Zoom）
内 容：



	テーマ	講 師
事前講義①	付加価値に着目したシンプルな設備設計	青山学院大学 教授 松本 俊之 氏
	ロボット Sler のための安全講座	日本認証株式会社
前期	課題やニーズを引き出す質問力	株式会社スタンコミュニケーションズ
	事前講義① Q&A	
	Sler 目線での現地調査ポイント	JET 株式会社
	現場実習・ヒアリング／グループワーク	
事前講義②	ロボット Sler に必要なプロジェクトマネジメントの考え方	アイシンク株式会社
中期	Sler ケーススタディ①「食品業界」	ABB 株式会社
	事前講義② Q & A	
	産業用ロボット導入のポイント	株式会社アラキエンジニアリング
	中間発表	
事前講義③	協働ロボットと周辺機器・シミュレータの最新動向	ダイドー株式会社
後期	Sler ケーススタディ②「マテリアルハンドリング」	株式会社日本設計工業
	ロボットダイジェスト 注目の最新ロボット技術・業界動向	株式会社ニュースダイジェスト社
	事前講義③ Q & A	
	最終発表会	

2-5-3

プロジェクト

産業用ロボット導入支援事業

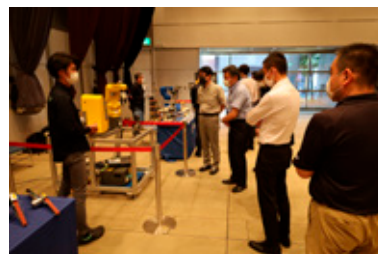
(5) タイアップセミナー

ロボット本体およびロボット周辺機器等の実機を用いた実践的な講座を通して、体系的な製品・技術知識や具体的な操作・活用方法等を習得することにより、自動化・ロボット導入を後押しすることを目的に、ロボットメーカーや各種機器・部品メーカー、ロボットシステムインテグレータ、商社などとタイアップしてセミナーを開催した。

○開催概要

	テーマ	協賛企業	参加者
1	搬送作業自動化のすすめ！	THK 株式会社	19 名
2	誰でも簡単！シミュレータを活用した工場のデジタル改善体験！	株式会社レクサー・リサーチ	10 名
3	あきらめるのはまだ早い！特殊ワークの把持・吸着	SMC 株式会社、カンタム・ウシカタ株式会社	24 名
4	バリ友募集！バリ取りエキスパート集団による自動化相談会	TAFLINK、スリーエムジャパン株式会社、日東工器株式会社	21 名
5	簡単に・自分だけでできる画像処理入門	CKD 株式会社	15 名

セミナーの様子（バリ友募集！バリ取りエキスパート集団による自動化相談会）



(6) ロボット産業・ビジネス勉強会

シニアアドバイザーである佐藤知正氏（東京大学 名誉教授）を交え、相模原市におけるロボット施策やロボット産業・ビジネスに関する研究会・勉強会を実施した。

○開催実績

9 回開催（うち 1 回は拡大版として広く参加者を募り開催した）

※ロボット産業・ビジネス勉強会（拡大版）「シリコンバレーと米国におけるロボット最新事情」

日 時：令和 5 年 3 月 17 日（金）10 時 30 分～12 時

会 場：オンライン開催

内 容：講演「シリコンバレーと米国におけるロボット最新事情 2022-2023」

講 師：ジャーナリスト 瀧口 範子 氏

東京大学 名誉教授 佐藤 知正 氏

2-5-4

プロジェクト

産業用ロボット導入支援事業

(7) その他

① 展示会出展

Japan Robot Week 2022（令和4年10月19日～2022年10月21日）

※かながわロボットイノベーション×モノづくりパビリオン with かながわ支援機関コーナーへのブース出展

② イベント出展（ロボット展示）

・「ロボット大集合！ in アリオ橋本 2022」（令和4年12月4日開催）

・「未来ロボットイベント」（令和5年2月15日～2月28日）

③ メディア掲載

➢ テレビ番組（令和3年9月30日掲載）

テレビ神奈川「あっぱれ！ KANAGAWA 大行進（令和5年3月18日放送）」

➢ 雑誌

講談社「FRaU（フラウ）2023年1月号」

『Possibilities for Future Tools 塩野瑛久、未来の道具を見に行く』（令和4年12月22日）

➢ 新聞・WEBメディア

・ロボットダイジェスト__ロボット Sler 養成講座の受講生を募集開始（令和4年7月6日）

・日刊工業新聞__Sler 養成講座に単科生追加（令和4年7月8日）

・日刊工業新聞__“バリ友”募集 来月4日にバリ取りセミナー（令和4年9月1日）

・ロボットダイジェスト__バリ取りエキスパートによる自動化相談会（令和4年9月1日）

・日刊工業新聞__バリ取りセミ開く エキスパートによる自動化相談会（令和4年10月31日）

④ 情報発信

ロボット導入支援センターの情報発信として、WEB サイトによる情報発信やメールマガジンの配信などを行った。

○メールマガジン購読者数

1,233 名（令和5年3月31日時点）

2-6

プロジェクト

D X化促進支援事業

事業の目的

ロボット・A I・I o Tを活用した自動化や非接触化を進めることで、将来的なD X化に向けた契機とするとともに、市内企業の受注機会の創出及び地域経済の活性化を図る。



概要

(1) 相模原市D X化促進支援補助事業

市内企業のロボットやA I、I o T等を活用した自動化や非接触化の取り組みを支援するための補助制度の市内企業への事業周知及び補助金に係る事務（意見交換会、ヒアリング等）、D X化に向けた支援等を実施した。

○情報提供：25 社

○事業者ヒアリング等：19 社



(2) D X化推進フォーラム

テーマ：中小企業のD X化とデジタル人材の育成

開催日：令和4年9月9日（金）

会 場：サン・エールさがみはら／オンライン ※ハイブリッド開催

参加者：107 名



1. 基調講演

「D Xを成功させるためには何を考えるべきか」

青山学院大学 理工学部 情報テクノロジー学科 大原 剛三 教授

2. 事例紹介1：令和3年度D X化促進支援補助金成果報告

「将来構想の実現のための取り組みについて」

株式会社リガルジョイント 新規事業推進課長 藤井 健 氏

3. 事例紹介2：飲食・サービス業におけるD Xの考え方・事例紹介

①「稼働状況監視システム導入によるエネルギーマネジメントの自動化・省力化事業」

株式会社日本フードエコロジーセンター 総務部 次長 高原 淳 氏

②「A I・I o Tを活用した溶接条件管理システム」

株式会社向洋技研 技術部 電気設計課長 寶山 和生 氏

4. 相模原市の取組について

相模原市 環境経済局 産業・雇用対策課長 仙波 浩美 氏



2-7

プロジェクト

首都圏南西地域連携サポート事業

事業の目的

産学官金の広域連携により、中小企業の新技術・新製品開発や新分野への進出に繋がる新たな連携を創出することで、地域産業の活性化を図る。

概要

(1) 首都圏南西地域産業活性化フォーラム（南西フォーラム）の開催支援

○第44回南西フォーラム

テーマ：カーボンニュートラル社会に求められる変革と新たなビジネスチャンス

日時：令和4年11月8日（火）16時～18時30分

場所：青山学院大学 相模原キャンパス

参加者：100名

基調講演：「経済産業省が進めるカーボンニュートラル政策の取組について」

経済産業省 産業技術環境局 環境経済室 企画官 内野 泰明氏

事例発表：①「BIPVの進展に向けた太陽光発電研究の最前線」

青山学院大学 理工学部 電気電子工学科 准教授 石河 泰明氏

②「未利用系バイオマス原料からのバイオポリエステル製造の社会実装への取組について」

神奈川工科大学 応用バイオ学部 応用バイオ学科 准教授 仲亀 誠司氏

③「新幹線再生アルミの利用と企業連携について」

東海旅客鉄道株式会社 事業推進本部 事業開発東京第二（神奈川県駅 PT）

担当課長 日下部 昭彦氏



(2) 南西フォーラムに関連するマッチング等の広域連携支援

南西フォーラム参加者等に対して、産学連携や大手企業とのマッチング支援など10社14件の連携コーディネートを実施した。また、特別企画として、東海旅客鉄道株式会社とオープンイノベーションイベントを実施した。

○JR東海オープンイノベーションチャレンジ in さがみはら

日時：令和5年2月13日（月）14時30分～18時

場所：サン・エールさがみはら ホール、第1研修室、多目的室

概要：参加企業から技術、製品及びサービス等を提案

プレゼンテーション(8社)、企業PR(12社)、製品・技術展示(25社)

参加者：208名（内訳：JR東海関係者170名、提案企業25社38名）



2-8

人材育成

SIC 経営塾

事業の目的

先端的なケーススタディを通じ、経営の理論と実践を学び、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を養成することを最終目的とする。

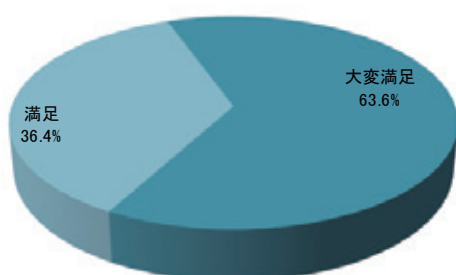
▶ 受講生

- ・ 11名 累計 200名
- ・ 次世代の経営者や経営幹部

▶ 聴講生

- ・ 2名 累計 39名

▶ 顧客満足度



▶ 活動内容

講義

最先端の経営理論を学びます。

- 先端企業経営者の実体験や様々な先進的な取組み事例を通して最新の経営理論と実例を学び、自社の課題に置き換えて検証します。

討論

塾生、コーディネータとの討議を重視します。

- 課題図書、事例研究を基に、異業種の方々と討論が自社を見つめ直し、自社の事業構想を構築する良い機会となるでしょう。

事業構想の再構築

最終ゴールは自社の事業構想の再構築です。

- 実証的な研究や討論を通じ、自社を客観的に見つめ直し事業構想を策定し、自社における「NEXT STAGE」を考えます。



■カリキュラム：

回	課題シート・講義内容
1	オリエンテーション
2	わが社の経営の現状を語る
3	現状を分析する①（外部環境・内部環境）
4	現状を分析する②（財務状況）
5	存在意義を問う
6	コアコンピタンスを定義する
7	戦略シナリオを考える
8	組織文化の変革を仕掛ける
9	事業構想を打ち出す
10	わが社の経営の将来を語る

2-9

人材育成

SIC 職場リーダー養成塾

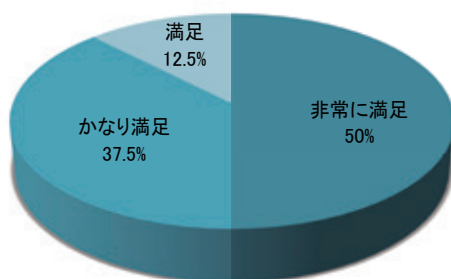
事業の目的

地域企業の中堅層の職場リーダーに対して、業種の異なるリーダーと他流試合やコミュニケーション研修、社内実践による職場の課題解決を通して、職場リーダーとして求められる「組織で成果を出す力」を養成する。

▶ 受講生

16名 累計 254名

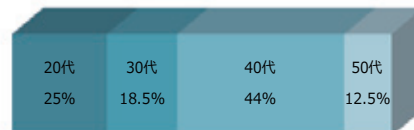
▶ 顧客満足度



▶ 受講生の声

- ・ 他人の意見を聞く機会が少ないので有意義だった。
- ・ 自分に足りないものが学べた。
- ・ コミュニケーション、プレゼンのスキルアップになった。
- ・ 色々アドバイスをもらえ、仕事に活かしやすかった。
- ・ 周りを巻き込み行動計画を立てながら課題を達成する事を身に付けた。
- ・ 他社の方との交流の中で視野を広げることができた。

▶ 受講生の年齢構成



▶ カリキュラム

	開催日	内容
	4月中旬～5月中旬	事前ヒアリング
第1回	令和4年 5月 28日(土)	オリエンテーション・職場のコミュニケーション①
第2回	令和4年 6月 8日(水)	課題解決の枠組みを理解する
第3回	令和4年 6月 22日(水)	職場の問題を抽出する
第4回	令和4年 7月 6日(水)	
第5回	令和4年 7月 11日(月)	職場のコミュニケーション②
第6回	令和4年 7月 27日(水)	職場の課題解決の枠組みを検討する (問題把握、課題設定、目標設定、対策検討、行動計画)
第7回	8月下旬	課題解決取り組みフォロー個別指導
第8回	令和4年 9月 14日(水)	職場の課題解決の枠組みを決定する
準備期間	9月中旬～下旬	社内実践準備期間
実践期間	10月～11月	社内実践期間(2ヶ月間)
第9回	令和4年 11月 9日(水)	プレゼンテーションを学ぶ
第10回	令和4年 12月 14日(水)	成果発表会



2-10

人材育成

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業

事業の目的

小学生を対象に初めて出会う仲間と会社設立から決算までの会社経営のプロセスを疑似体験することで、以下のようなことを学ぶ。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| (1) 会社や経済の仕組みを知る | (4) チームワークの大切さを知る |
| (2) 失敗を恐れずに挑戦できる心を養う | (5) お金の大切さを実感する |
| (3) 自分の考えで行動できる力を養う | |

▶ 受講生

43名 累計 876名

▶ 顧客満足度

- ① 将来社長になりたいですか？ 82%
※ 「なりたい 21%」「まあまあなりたい 61%」
- ② 将来会社を経営したいですか？ 89%
※ 「したい 36%」「まあまあしたい 53%」

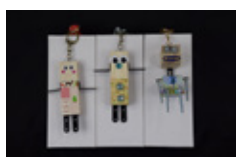
<保護者アンケート>

満足 100%
※ 「満足 94%」「やや満足」 6%



▶ 事業概要

	開催日	内容
1日目	令和4年 8月11日(木)	・会社設立 ・事業計画書作成
2日目	令和4年 8月12日(金)	・融資交渉 ・材料仕入れ ・商品製造
3日目	令和4年 8月13日(土)	・販売 ・決算 ・報告会 ・修了式



▶ 参加者の声

- ・ お金を稼ぐってとっても大変だけど頑張ってるね。
- ・ 銀行の人に交渉したり、商品を製造したり、大変なこともあると思うけど、大変だからこそクリアした時の達成感はすごいので頑張ってください。
- ・ 知らない人と進めるのは緊張するかもしれないけれど、すぐ仲良くなるので、緊張より楽しいことを考えて参加してください。
- ・ たくさんの楽しい体験ができ、新しい仲間ができます。
- ・ アントレはすごく楽しいです！しかもお金のことも学べるからすごくいいです。

▶ 保護者の声

- ・ いい顔になって帰ってきたから満足です。
- ・ お金を稼ぐという大切さを学べるとともに、仲間と協力して成し遂げた達成感はとても良い経験になりました。
- ・ 内容も深く考えないと進められないものなので、頭も体も気持ちもフルに使っている様子が伺えました。
- ・ 起業することを体験、勉強するのは将来において役に立つ時が来ると思います。
- ・ スタッフさんたちの何人かが、子どもアントレの卒業生ということがとても素敵だなと思いました。

2-11

人材育成

『アントレ・チャレンジ』プロジェクト

事業の目的

- (1) プロジェクト（子どもアントレ）の企画・運営（仕事体験）を通じて、起業家精神（チャレンジ精神、創造性等）および主体性を涵養する。
- (2) 経営者との交流、社会人の思考や行動を知ることなどを通じて、将来（キャリア）を考えるきっかけとするとともに、社会人としての心構え、あるべき姿を学ぶ。

▶ 参加者数 8名 累計 154名

▶ 参加者の声（『アントレ・チャレンジ』プロジェクトを一言でいうと。19期生へのメッセージ）

(1) 参加者の声

「自分を見つめるきっかけに！」

とにかく大変でしたがそれ以上に楽しかったです。

最高の仲間と出会うことができたアントレに感謝したいです。

「仲間の大切さを知れる！！」

お金では買うことのできない貴重な体験をたくさんできる場所です！少しでも迷うなら参加するべき！

「文字通りの“挑戦”」

自分を試してみましょう。意外と楽しんでできますよ。



コーチング研修



経営者との交流



リハーサル



報告会

▶ 事業概要

毎年8月に開催する「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業」の企画運営を大学生が中心となつて行うものです。

	開催日	内容	概要
1	令和4年 6月19日(日)	キックオフ	ビジネスマナー研修、ネットリテラシー研修
2	令和4年 6月～8月	企画・準備	子どもアントレの企画、準備を実施
3	令和4年 7月2日(土)	経営者との交流会	地元企業の経営者との交流会を実施
4	令和4年 7月3日(日)	コーチング研修	子どもの考えや思いの引き出し方を学ぶ
5	令和4年 8月11日(木) ～13日(土)	子どもアントレ	小学生に会社経営の疑似体験プログラムを提供
6	令和4年 8月～9月	振り返り	子どもアントレ、アントレ・チャレンジ、自分自身の振り返りを実施
7	令和4年 9月22日(木)	アントレ実施結果報告、修了式	子どもアントレの実施結果を報告



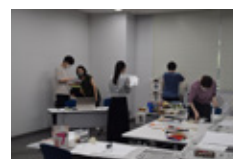
準備活動①



準備活動②



準備活動③



商品試作

2-12

人材育成

サガツクナビ（地元企業と学生との出会いをつなぐ）

事業の目的

“地元企業の採用の円滑化”と“地元で働きたい学生の就職の円滑化”を目指して、神奈川県県央地域、東京都多摩地域をフィールドに定め、地元企業の魅力を伝えるイベントとインターネットでの企業情報発信の両輪で地元企業と学生の出会いの場を創出し、新卒採用（就職）のサポートをする。

実績

サガツクナビサイトへのアクセス状況：セッション数 15,339

メールマガジン配信回数 62 回（受信者総数 7,106 名：学生 3,039 名、教職員 1,364 名、企業 2,703 名）

合同就職説明会 3 回開催、企業 14 社

個別相談会 学生 14 名（相談回数 62 回）

企業と学生（教職員）の相互理解サポート 6 回開催、企業 20 社、学生 115 名、教職員 9 名

情報発信

ウェブサイトやメルマガなどによる情報発信

- ① サガツクナビサイトにて地元企業やイベント情報などを発信
- ② メールマガジン「サガツクナビ通信」の配信
- ③ Facebook、Instagram、YouTube での情報発信



イベント

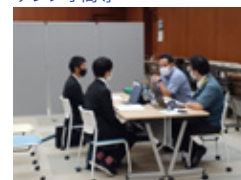
<採用&就活サポート>

- ① ジョブミーツ（サレジオ高専、神奈川工科大学にて学内合同企業説明会を開催）
- ② ジョブサポート（充実した就活となるよう就活生等に対する個別相談会）

学内合同就職説明会の様子



サレジオ高専



神奈川工科大学

<企業と学生（教職員）の相互理解サポート>

① KAIMAMI シリーズ

- ・就活スタートアップセミナー
- ・サレジオ高専「キャリアデー」（機械電子工学科 3 年生を対象に開催）
- ・サレジオ高専「将来の“しごと”を考える地元企業見学ツアー」
- ・神奈川工科大学「将来の“しごと”を考える企業見学会」
- ・サレジオ高専「地元企業との交流会」



サレジオ高専「キャリアデー」



サレジオ高専「将来の“しごと”
を考える地元企業見学ツアー」



神奈川工科大学「将来の“しごと”
を考える企業見学会」



サレジオ高専「地元企業との交流会」

2-13 人材育成

『マネジメント人材の育成と組織力強化の進め方 ～理念・方向性を共有して会社の発展に貢献する人材を育成する～』

事業の目的

中小企業にとって、経営層に依存した事業活動は、会社の成長を阻む要因となることがある。そこで、マネージャー層の人材に一定の権限移譲を行う組織体制をつくり、事業を推進していくことが重要である。本研修は、将来的に経営者や経営幹部候補ともなりうる“マネジメント人材”に求められる役割や能力、“マネジメント人材”育成の必要性を理解し、今後の組織づくりのポイントを学び、そのうえで、今後の具体的な施策の立案に取り組むことを目的に開催した。

※独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業大学校東京校が実施する「サテライト・ゼミ」の一環として開催した。

▶ 開催概要

期 間：令和4年8月9日（火）、8月23日（火）、8月30日（火）（全3回）

場 所：サン・エールさがみはら（第1研修室）

講 師：東京保健医療専門職大学 教授 / 事業構想大学院大学 客員教授 片岡 幸彦 氏

▶ 受講者数

11社 14名

▶ 受講者の声

- ・ 今後の社内教育に多くのヒントが得られた。
- ・ 組織づくりの考え方が参考になった。プロセスの評価基準をより詳細に考える必要性を感じた。
- ・ 自社の状況を客観的に知る機会にもなった。

▶ カリキュラム

	内 容
第1回	マネジメント人材の必要性・重要性「参画型経営の実践」
	組織の理念・方向性の明確化「ストーリーテリングによる想いの発露」
第2回	マネジメント人材の発掘・育成のしくみづくり「マネジメント人材の計画的育成」
	マネジメント人材の評価制度のあり方「ジョブ型・メンバーシップ型」
第3回	働きがいのある職場の作り方「エンゲージメント向上」
	人材育成の理論と実践のポイント

3-1

さがみはら産業創造センターの歩み

1998 年度 (平成 10 年度)	・検討会の提言…市内の若手経営者、相模原市などの若手スタッフによる検討会が相模原市にセンター整備を提言
1999 年度 (平成 11 年度)	・会社設立…相模原市、相模原商工会議所及び新事業創出促進法に基き地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）が出資し会社設立 ・増資…地元企業や地域金融機関などが出資 ・第 1 回女性起業家育成セミナー開催
2000 年度 (平成 12 年度)	・S I C-1（インキュベーションセンター）オープン ・第 1 回ビジネスプランコンテスト開催
2001 年度 (平成 13 年度)	・第 1 回さがみはら子どもアントレプレナー体験事業開催 ・増資…相模原市、地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）、地元企業が出資
2002 年度 (平成 14 年度)	・S I C-2（ポストインキュベーションセンター）オープン ・第 1 回「S I C 経営塾」開講 ・女子美術大学と「ヒューマンデザイン開発支援事業」に関する協定を締結、中小企業のデザインを支援するデザイン開発支援事業を開始 ・経済産業省から「即効型地域新生コンソーシアム事業」を受託
2003 年度 (平成 15 年度)	・職業能力開発総合大学校と「地域企業活性化支援事業」に関する協定を締結 ・八千代銀行（現 きらぼし銀行）と「起業家支援事業」に関する協定を締結 ・地域企業 450 社の実態調査を実施
2004 年度 (平成 16 年度)	・神奈川工科大学と「産学連携事業」に関する協定を締結 ・第 1 回「S I C アントレ・インターンシップ」開講 ・かわらばん（入居企業版）創刊号発行
2005 年度 (平成 17 年度)	・S I C 1 号投資事業有限責任組合（S I C ファンド）を組成 ・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」を受託 ・S I C 燃料電池研究会が発足 ・第 1 回 S I C 起業家塾開講
2006 年度 (平成 18 年度)	・相模原市から「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の運営を受託
2007 年度 (平成 19 年度)	・第 1 回職場リーダー塾開講 ・S P S 研究会が発足
2008 年度 (平成 20 年度)	・株式会社カイゼン・マイスターと業務提携し、地元企業向けのカイゼン支援を開始 ・かわらばん（地域企業版）創刊号発行
2009 年度 (平成 21 年度)	・さがみはら企業力支援事業を開始、併せてメンター（経営指南者）制度を創設 ・緊急雇用事業を相模原市から受託し、大規模な市内企業実態調査や産業界の人づくり支援事業などの人材育成に取り組む ・経済産業省から「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」を受託
2010 年度 (平成 22 年度)	・さがみはら表面技術研究所オープン ・インキュベーション型シェアードオフィス「DESK ⑩」オープン ・第 1 回台湾ビジネスマッチングを開催
2011 年度 (平成 23 年度)	・台湾工業技術研究院 (ITRI) と連携協定を締結 ・S I C-3（イノベーションラボ）オープン ・S I C 台湾ビジネスセンターオープン ・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」を受託 ・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見！」出版 ・地域発信冊子「葎尾根のブルーベリー」発行
2012 年度 (平成 24 年度)	・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」等を受託 ・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」を受託 ・インキュベーションセンター「T-B I S C」、「M B D A」の計画・運営サポートを受託 ・第 1 回南西フォーラムビジネスマッチング開催 ・SIC 台湾ビジネスサポート事業開始 ・第 1 回 SIC カイゼン研究会（現 SIC カイゼン・スクール）開講
2013 年度 (平成 25 年度)	・財団法人台湾建築中心（TABC）及び財団法人金属工業研究発展中心（MIRDC）と連携協定を締結 ・神奈川県「かながわ成長産業イノベーション事業」を受託
2014 年度 (平成 26 年度)	・地域密着型就職支援事業「サガツク」を開始 ・全国中小企業団体中央会「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」受託 ・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト委員会事務局を担う
2015 年度 (平成 27 年度)	・相模原市から産業用ロボット導入支援事業を受託し、さがみはらロボット導入支援センターをオープン ・神奈川県「成長産業育成支援事業」を受託
2016 年度 (平成 28 年度)	・「みんなで一人前の社会人になる研修」を開始 ・綾瀬市商工会からビジネスマッチング事業を受託 ・相模原市と連携する大和市・座間市・寒川町から産業用ロボット導入支援事業を受託
2017 年度 (平成 29 年度)	・神奈川県「成長ベンチャー情報発信事業」受託 ・台湾工業技術研究所 (ITRI)、財団法人金属工業研究発展中心 (MIRDC) と連携協定を更新
2018 年度 (平成 30 年度)	・S I C-2 R&D Lab. 着工 ・World Robot Challenge 2018 に市内企業等で Team SAGAMIHARA を結成し参加
2019 年度 (令和元年度)	・S I C-2 R&D Lab. オープン ・相模女子大学との連携協定を締結 ・相模原市「ロボット制御・AI 等共同研究開発事業」受託 ・綾瀬市「中小企業コンサルティング事業」受託
2020 年度 (令和 2 年度)	・シェアする“オフィス&ラボ” EN-Garege（DESK ⑩・Fab ⑩）オープン
2021 年度 (令和 3 年度)	・神奈川工科大学「産学連携による中小企業支援等に関する協定」を再締結 ・相模原市「ロボット・AI・IoT 活用 DX 化促進支援事業業務委託」受託 ・中小企業大学校「サテライト・ゼミ」連携開始
2022 年度 (令和 4 年度)	・一般社団法人首都圏産業活性化協会と連携協定を締結 ・神奈川県「ロボット開発総合プロジェクト総合支援事業」受託

3-2

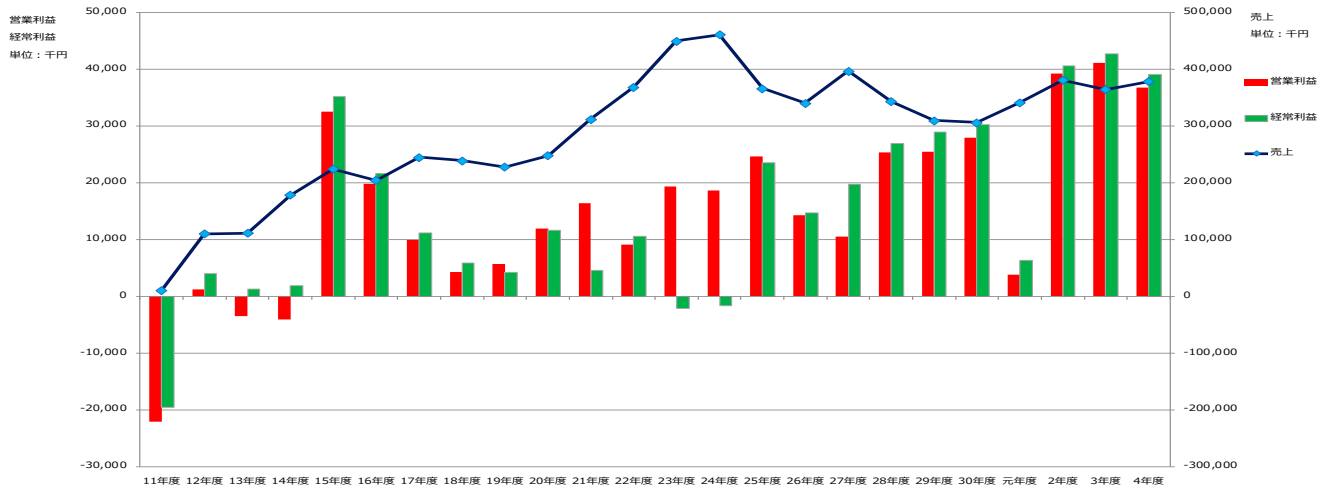
主な事業と開始年度（カテゴリー別）

年 度	ラボ・オフィス	経営サポート	プロジェクト	人材育成	資金調達・販路開拓
1999年度 (平成11年度)		・ビジネスプランコンテスト	・新規成長産業連携支援事業	・女性起業家育成セミナー	
2000年度 (平成12年度)	SIC-1 オープン	・株式公開塾 ・入居企業セミナー	・中小企業のための技術セミナー		
2001年度 (平成13年度)			・ミニコンソーシアム事業	・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業（小学生）	
2002年度 (平成14年度)	SIC-2 オープン	・アントレフォスター事業 ・中小企業のデザイン開発支援	・経済産業省「即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業」受託	・SIC 経営塾 ・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業（中学生）	・KSP ベンチャーマッチング商談会に参画
2003年度 (平成15年度)		・八千代起業家支援プログラム ・地域企業実態調査 (450 社)	・大学シーズ調査	・SIC 経営者セミナー	
2004年度 (平成16年度)		・さがみはら青年アントレプレナープロデュース事業 ・かわらばん（入居企業版）創刊号発行	・新技術創造研究会	・SIC アントレ・インターン	
2005年度 (平成17年度)			・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」受託 ・燃料電池研究会発足	・SIC 起業家塾	・SIC1 号投資事業有限責任組合組成
2006年度 (平成18年度)		・チャレンジショップ	・「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」受託	・SIC 起業家育成大学校	・入居企業 4 社、地域企業 3 社に出資
2007年度 (平成19年度)			・SPS 研究会	・SIC 職場リーダー養成塾	・入居企業 1 社、地域企業 2 社に出資
2008年度 (平成20年度)		・中小企業のカイゼン活動支援 ・かわらばん（地域企業版）創刊号発行	・実用化開発支援		・入居企業 1 社に出資 ・SIC テクノロジーマッチング ・KSP 協創マッチングフォーラムに参画
2009年度 (平成21年度)		・メンター制度 ・さがみはら企業力支援事業 ・地域企業実態調査（500 社）	・経済産業省「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」受託	・地域産業界の人づくり支援事業 ・さがみはら未来塾 ・ベンチャー・中小企業人材確保支援事業	
2010年度 (平成22年度)	DESK ⑩ オープン	・ソーシャルビジネス創育支援事業	・高度研究人材活用事業（さがみはら表面技術研究所） ・神奈川県バイオベンチャー人材活用事業		・台湾ビジネスマッチング開催 ・川崎市産業振興財団 ・新事業マッチングフォーラム参画
2011年度 (平成23年度)	SIC-3 オープン	・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見！」出版 ・地域発信冊子「葦根のブルーベリー」発行	・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」受託 ・新製品開発のための「協創プロジェクト」 ・相模原市から「新技術実用化コンソーシアム 形成支援事業」受託	・ISB 公共未来塾	・台湾工業技術研究院と協定 ・SIC 台湾ビジネスセンターオープン
2012年度 (平成24年度)	「T-BISC」、 「MBDA」の計画・運営サポート	・地域発信冊子「里山コミュニティ」発行 ・企業紹介冊子「い〜コトなび」発行	・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」受託	・SIC カイゼン研究会 ・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」 ・女性力発揮セミナー ・子どもワークショップ	・日本台湾アライアンスセミナー ・南西フォーラムビジネスマッチング
2013年度 (平成25年度)			・可搬型燃料電池・飲料水供給装置の開発	・SIC カイゼンスクール	・財団法人台湾建築中心、財団法人金属工業研究発展中心と連携協定を締結 ・日台環境・建築ビジネスマッチングを開催
2014年度 (平成26年度)			・全国中小企業団体中央会「ものづくり中小企業・事業者連携支援事業」 ・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト事業	・「サガツクナビ」ポータルサイト	
2015年度 (平成27年度)			・相模原市「産業用ロボット導入支援事業」「コンソーシアム加速化支援事業」受託 ・神奈川県「成長産業育成支援事業」受託		
2016年度 (平成28年度)				・「みんなで一人前の社会人になる研修」	・SIC1 号投資事業有限責任組合解散
2017年度 (平成29年度)			・神奈川県「成長ベンチャー情報発信事業」受託		・日台ものづくり企業ビジネス交流ツアー
2018年度 (平成30年度)	SIC-2(仮) 増築棟起工式				
2019年度 (令和元年度)	SIC-2 R&D Lab. オープン		・相模原市「ロボット制御・AI 等共同研究開発事業」受託		
2020年度 (令和2年度)	EN-Garege オープン				
2021年度 (令和3年度)			・相模原市「ロボット・AI・IoT 活用DX 化促進支援事業業務委託」受託	・サテライト・ゼミ「マネジメント人材の育成と組織力強化の進め方」	
2022年度 (令和4年度)			・神奈川県「ロボット開発総合プロジェクト総合支援事業」受託 ・愛媛県南西条市産業情報センター「西条市産業交流可能性調査支援業務」受託		

3-3

財務状況

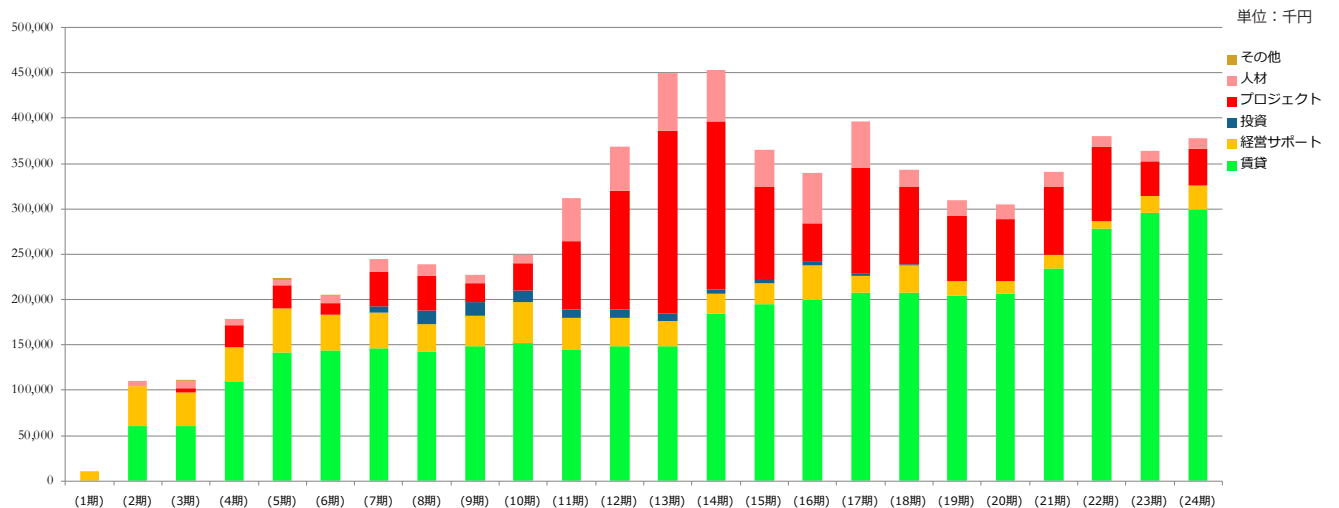
P／L推移



単位：千円

	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)	30年度 (20期)	元年度 (21期)	2年度 (22期)	3年度 (23期)	4年度 (24期)
売上	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,221	452,739	365,658	339,759	396,465	342,657	309,168	305,449	340,813	380,385	364,076	378,019
営業利益	-22,122	1,257	-3,455	-4,101	32,523	19,804	9,914	4,219	5,620	11,946	16,397	9,080	19,283	18,649	24,640	14,298	10,548	25,278	25,445	27,926	3,808	39,159	41,019	36,715
経常利益	-19,522	3,922	1,256	1,817	35,141	21,656	11,200	5,910	4,242	11,604	4,514	10,568	-2,082	-1,641	23,436	14,711	19,727	26,860	28,937	30,221	6,310	40,541	42,701	39,041

事業別売上高の推移



単位：千円

	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)	30年度 (20期)	元年度 (21期)	2年度 (22期)	3年度 (23期)	4年度 (24期)
貸貨	0	60,473	60,622	108,655	142,026	143,982	145,990	142,525	148,914	151,930	145,552	147,969	148,705	184,290	195,181	199,726	207,547	207,790	204,049	206,749	234,421	277,910	296,197	299,669
経営サポート	10,429	44,344	37,125	38,379	48,475	39,669	40,038	30,769	32,709	45,225	34,042	31,402	28,039	21,837	22,348	38,000	18,204	30,010	15,758	14,132	14,482	8,217	18,248	25,596
投資	0	0	0	0	0	0	6,250	15,000	15,000	12,915	9,999	10,000	7,917	5,000	5,000	5,000	3,250	750	0	0	0	0	0	0
プロジェクト	0	0	4,130	24,713	24,744	12,530	38,545	37,595	21,655	30,258	74,868	130,200	201,456	185,723	102,340	41,195	116,116	85,967	72,519	68,249	75,931	83,045	38,551	40,545
人材	0	5,447	8,629	6,576	6,785	7,809	13,699	12,922	9,525	8,969	47,363	48,574	63,105	55,889	40,788	55,837	51,349	18,140	16,841	16,318	15,978	11,212	11,079	12,208
その他	0	0	502	0	2,240	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売上合計	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,221	452,739	365,658	339,759	396,466	342,657	309,168	305,449	340,813	380,385	364,076	378,019

3-4

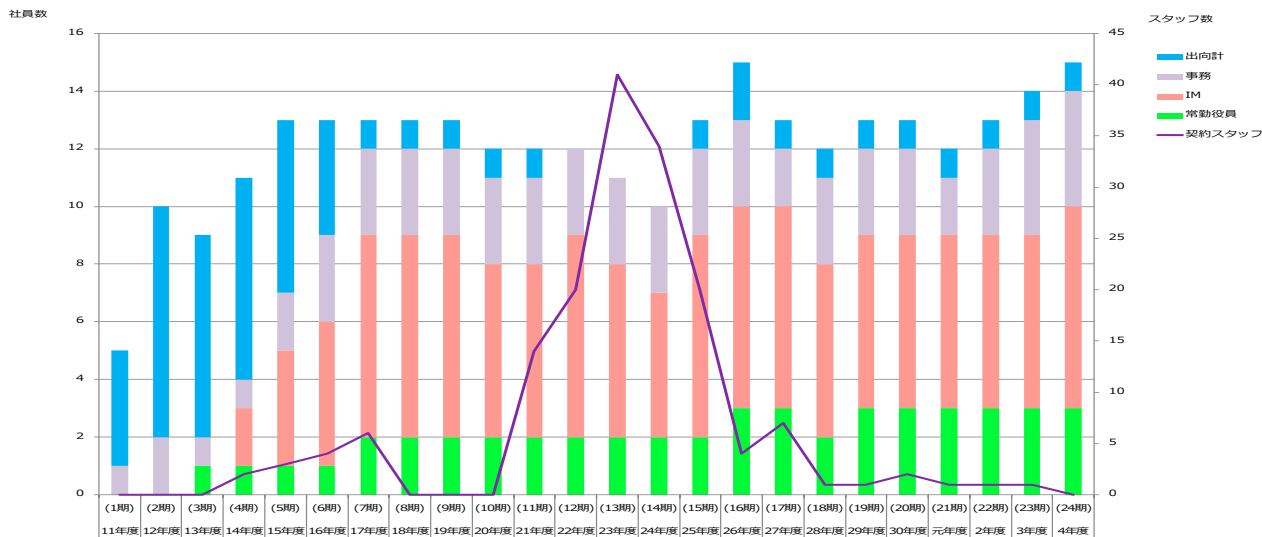
競争的資金の獲得

単位：千円

年 度	資金獲得先	事 業 名	資 金 額
平成 14 年度	経済産業省	即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業 「次世代デバイス用超高精度ナノレベル研磨・洗浄複合装置の開発」	40,000
平成 17 年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	20,000
平成 18 年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	22,000
平成 20 年度	中小機構	川上川下ネットワーク構築支援事業 「次世代エネルギーシステムの早期実用化ネットワーク構築」	25,600
		新現役チャレンジ支援事業 「新現役人材による中小企業支援のモデル事業としてカイゼン支援プログラム開発」	
		ビジネス・インキュベータ（B I）における広域的ネットワーク構築の調査事業 「“ グループインキュベーション ” 手法の開発と検証 ― ネットワークによる支援と手法のネットワーク化―」	
	神奈川県	ベンチャー創出促進モデルプロジェクト事業 「動物病院医療市場を対象とした犬のアレルギー及び免疫検査受託事業」 「静電エンコーダの事業化」	
平成 21 年度	経済産業省	低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業 「太陽光雨水などの自然の恵みを有効活用した安全・安心な低炭素社会システムの構築」	64,000
平成 22 年度	経済産業省	中小企業海外販路開拓支援事業（台湾ビジネスマッチング） 「神奈川県ビジネス・インキュベータ連携による I T / エレクトロニクス分野 研究開発型ベンチャー企業の海外販路支援事業」	11,500
平成 23 年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」	7,000
	中小機構	B I ネットワーク構築事業 「T - B I S C の整備に協調・連携した国内外ビジネスマッチング事業」	
	神奈川県	新産業ベンチャー事業化支援事業 「生物機能制御・改善のための体内時計調節剤及び関連試薬の開発」	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
平成 24 年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」 高度実践型支援人材育成事業	101,700
	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわエネルギー関連ベンチャーマッチング・パートナーリング支援事業	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
平成 25 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業	8,000
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「表面形状を制御した医療用機能部品の要素開発」	
平成 26 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業イノベーション事業	33,900
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」	
平成 27 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業 新技術実用化コンソーシアム形成支援事業	21,470
	相模原市	「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」 コンソーシアム加速化支援事業	
平成 28 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業	17,770
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	
平成 29 年度	神奈川県	成長ベンチャー情報発信事業 「エネルギー及び I T 分野」	6,480
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	
平成 30 年度	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	2,777
令和元年度	相模原市	ロボット制御・AI 等共同研究開発事業	9,090
令和 2 年度	相模原市	ロボット制御・AI 等共同研究開発事業	13,636
令和 4 年度	神奈川県	ロボット開発プロジェクト総合支援事業	5,000

3-5

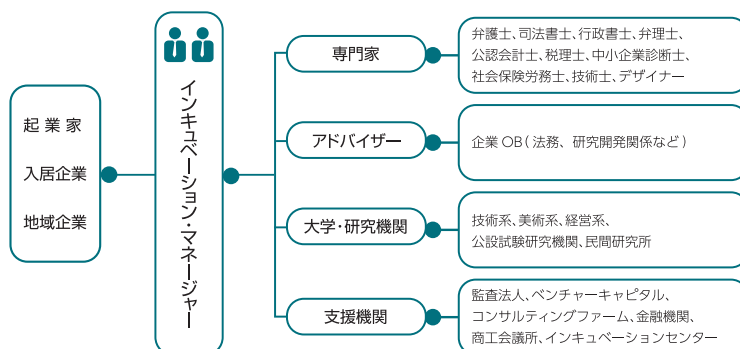
スタッフ数の変遷



	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)	30年度 (20期)	元年度 (21期)	2年度 (22期)	3年度 (23期)	4年度 (24期)
常勤役員	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	3	3	3	3	3	3
非常勤役員	13	13	13	13	15	15	13	12	11	10	10	10	11	11	12	13	12	12	12	13	12	12	12	11
IM	0	0	0	2	4	5	7	7	7	6	6	7	6	5	7	7	7	6	6	6	6	6	6	7
事務	1	2	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	3	4	4
相模原市から出向	3	5	5	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中小機構からの出向	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銀行からの出向	1	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1
出向計	4	8	7	7	6	4	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1
計	5	10	8	10	12	12	11	11	11	10	10	10	9	8	11	12	10	10	10	10	9	10	11	12
契約スタッフ	0	0	0	2	3	4	6	0	0	0	14	20	41	34	20	4	7	1	1	2	1	1	1	0
パートタイマー	0	1	1	4	2	2	4	3	1	1	1	1	3	3	3	4	3	3	5	2	2	2	2	2

3-6

支援ネットワーク



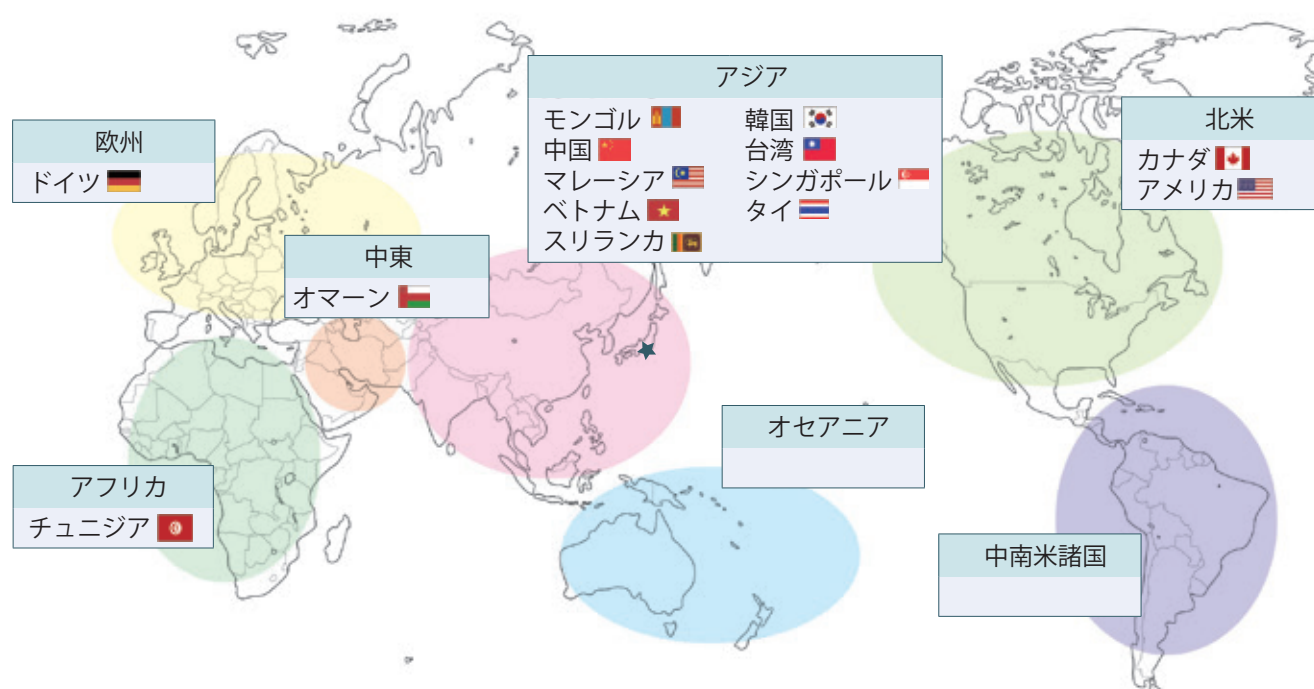
3-7

視察・研修

令和4年度 国内

名 称
視 察
福島県南相馬市議会 建設経済常任委員会、東京都中小企業振興公社 異業種交流グループ、 中小企業庁小規模企業振興課、公益財団法人とかち財団（株式会社アルプス技研）、愛媛県西条市、 町田市、株式会社日本総合研究所（野村不動産）
研 修
一般社団法人JBIA IM 養成研修

海外（令和元年度まで）



主な視察・研修の名称

チュニジアベンチャーキャピタル協会、海外技術者研修、集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA）、モンゴル中小企業振興研修、韓国インキュベーションスタッフ研修、オマーン技術大学指導員研修、無錫市政府、マレーシア国職業訓練校指導員研修、工業技術研究院、中国山東省（対日投資）視察団、中小企業支援法制度検討視察（JICA）、国際企業人材育成センター日本語プログラム研修（台湾貿易センター）、アフリカ地域女性起業家支援セミナー（JICA）、台湾工業技術研究院、産業経済與趨勢研究中心、シンガポール国立大学、法政大学（欧州産学連携研究者視察団）、トロント市議会、韓国技術ベンチャー財団、行政院世界企業誘致総合サービスセンター、台北市コンピュータ協会、アメリカ オースティンアジア商工会、タイ対日技術振興協会、スリランカソフトウェアサービス協会、台湾手工具工業同業公会、韓国生産性本部、ドイツロボット関連企業視察団、JETROトロント、韓国創業振興院、中国ロボット関連企業視察団、ベトナム政府及び中小企業支援機関、オンタリオ州東京事務所、タイ王国科学技術庁、泰日工業大学、中国・遼寧省経済視察団

3-8

メディア掲載（令和4年度）

年月日	メディア	表 題
令和4年 4月 23日	神奈川新聞	“脱”下請けへ踏み出した町工場 ①関係 地域の発展へ共創を
令和4年 7月 8日	日刊工業新聞	Sler 養成講座に単科生追加
令和4年 7月 11日	日刊工業新聞	ロボ開発プロ総合支援 2 件の事業採択
令和4年 7月 28日	日刊工業新聞	TAMA 協・さがみはら産創センター 中堅・中小支援で協定
令和4年 8月 1日	相模経済新聞	協定締結で連携強化へ
令和4年 8月 12日	かながわ経済新聞	TAMA 協・SIC が連携協定
令和4年 8月 12日	かながわ経済新聞	施設農園用ロボットの開発を後押し
令和4年 8月 13日	神奈川新聞	育て 未来の起業家
令和4年 9月 1日	日刊工業新聞	「バリ友募集」バリ取りセミナー
令和4年 9月 1日	ロボットダイジェスト	バリ取りエキスパートによる自動化相談会／さがみはらロボット導入支援センター
令和4年 9月 6日	テレビ神奈川	News Link「育て未来の起業家 相模原市起業体験事業」
令和4年 10月 4日	日刊工業新聞	デジタル化オンラインセミナー
令和4年 10月 31日	日刊工業新聞	バリ取り実演自動化相談 さがみはらロボット導入支援センター
令和4年 11月 7日	日刊工業新聞	中小の交流促進イベント首都圏南西活性化フォーラム
令和4年 11月 11日	かながわ経済新聞	南西フォーラムが再開
令和5年 1月 1日	講談社「FRaU」 (2023年1月号)	塩野瑛久、未来の道具を見に行く。
令和5年 1月 11日	FRaU the EARTH	俳優・塩野瑛久が故郷の「ロボットのまち」で「未来の道具の可能性」を知る
令和5年 2月 27日	日刊工業新聞	産学連携イベント研究など連携シーズを紹介
令和5年 3月 8日	日刊工業新聞	施設農園に車輪移動型ロボ
令和5年 3月 10日	神奈川新聞	農業用ロボット商品化へ
令和5年 3月 10日	相模経済新聞	ロボットベースの農業活用検証巡回や走破性強みに
令和5年 3月 18日	テレビ神奈川	あっぱれ！ KANAGAWA 大行進

3-9

広報紙 「かわらばん」の発行

▶ SICかわらばん（入居企業版） 内容：入居企業紹介、セミナー等情報提供等

入居企業様と入居企業様そして当センターとのコミュニケーションの促進を図る為に、新しく入居された企業様のご紹介や入居企業交流会、当センターの開催事業、施設関係の細やかなご案内など、当センターでより快適にご入居頂ける事を目的に毎月発行しています。

発行 No.	発行日	紹介企業名（入居企業）他
No. 215	令和 4 年 4 月 1 日	D i N O V 株式会社
No. 216	令和 4 年 5 月 2 日	株式会社日刊工業新聞社 相模支局
No. 217	令和 4 年 6 月 1 日	合同会社ROBOT. ICHIBA
No. 218	令和 4 年 7 月 1 日	O T E S S 9 株式会社
No. 219	令和 4 年 8 月 1 日	株式会社ラクロー
No. 220	令和 4 年 9 月 1 日	株式会社S. Design Create
No. 221	令和 4 年 10 月 3 日	株式会社Puerto
No. 222	令和 4 年 11 月 1 日	栗島技術士事務所
No. 223	令和 4 年 12 月 1 日	ICHIKA
No. 224	令和 5 年 1 月 4 日	新年のご挨拶
No. 225	令和 5 年 2 月 1 日	株式会社シグマ工業
No. 226	令和 5 年 3 月 1 日	株式会社クラウドスカイ



▶ SICかわらばん（地域企業版） 内容：地域企業紹介、入居企業紹介、特集記事、セミナー等情報提供、地元紹介等

地域企業様と当センター、地域企業様と入居企業様、地域企業様と地域企業様を繋ぐコミュニケーションツールとして、入居企業様や地域企業様に親しまれ、企業の皆さまにより良い情報をお届けすることを目的に隔月発行しています。

発行 No.	発行日	紹介企業名（地域企業）	紹介企業名（入居企業）	企画ページ
No. 78	令和 4 年 5 月 16 日	株式会社ミナミ工機	エピトマップ株式会社	税理士が解説！インボイス制度のポイント（全2回） 第2回『インボイス制度の特徴と対応方法』
No. 79	令和 4 年 7 月 15 日	株式会社エフエムさがみ（FM HOT 839）	サメス・クレムリン株式会社	研究開発に使える補助金（全3回） 「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech）」の活用を考えてみませんか？＜第1回＞
No. 80	令和 4 年 9 月 30 日	株式会社ワード技研	F N パートナース合同会社	研究開発に使える補助金（全3回） 「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech）」の活用を考えてみませんか？＜第2回＞
No. 81	令和 4 年 11 月 15 日	株式会社萬田	株式会社K S B I Z	研究開発に使える補助金（全3回） 「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech）」の活用を考えてみませんか？＜第3回＞
No. 82	令和 5 年 1 月 16 日	株式会社昭和真空	有限会社中村電機	謹賀新年
No. 83	令和 5 年 3 月 15 日	旭フォークリフト株式会社	大豊産業株式会社	会社法のキホン ～株式について最低限押さえて欲しいポイント～



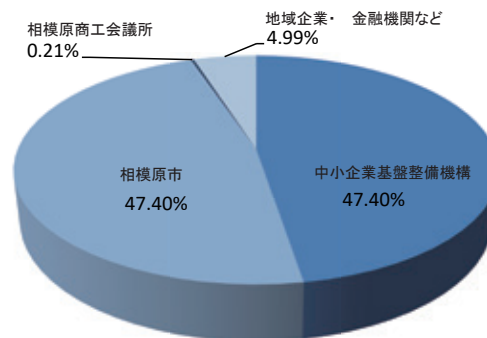
3-10

株主と役員

株主数：31 社（者） 発行済株式の総数：47,890 株 資本金：23 億 9,450 万円 令和 5 年 3 月 31 日時点

相模原市	独立行政法人中小企業基盤整備機構
株式会社きらぼし銀行	株式会社ボイス
株式会社ハリマビステム	古木建設株式会社
株式会社横浜銀行	西武信用金庫
株式会社三菱UFJ銀行	相模原商工会議所
日本テクノ株式会社	城山工業株式会社
株式会社ハイスポット	有限会社早川銘板製作所
三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社	日本電子工業株式会社
相模原市農業協同組合	権田金属工業株式会社
株式会社相模運輸	相模ガス株式会社
株式会社昭和真空	篠崎電業株式会社
タイヨー印刷株式会社	東邦電子株式会社
東京海上日動火災保険株式会社	ブックオフコーポレーション株式会社
アイシンク株式会社	株式会社キャロットシステムズ
Apex 株式会社	

構成割合



代表取締役 取締役

橋元 雅敏	
安藤 重夫	
稲垣 英孝	
山崎 利宏	(城山工業株式会社 代表取締役)
西澤 勇司	(株式会社キャロットシステムズ 代表取締役)
杉本 祥一	(株式会社ハイスポット 代表取締役)
早川 正彦	(有限会社早川銘板製作所 代表取締役)
佐々木 亮一	(株式会社ライト 代表取締役)
井熊 直人	(相模原市 環境経済局 企業誘致担当部長)
渡貴 隆	(相模原商工会議所 中小企業振興部長兼産業振興課長)

監査役

石川 敏美	
安田 弘幸	(安田弘幸公認会計士事務所 所長)
池田 亨	(株式会社横浜銀行 相模原エリア統括兼相模原駅前支店長)
宮川 日出男	(株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ 連携推進部 公共連携推進室長)

SIC-1 Startup Lab. / SIC-2 Creation Lab. / R&D Lab.

さがみはら
産業創造センター



交通アクセス

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
相模原インターから約5 km
 - 新横浜駅まで約27分 ■横浜駅まで約40分
 - 新宿駅まで約40分 ■東京駅まで約60分
 - 橋本駅南口から徒歩10分（約1 km）
- ★お車でお越しの場合
SIC-1へは「西橋本3丁目」交差点方向より、SIC-2へは「橋本高校前」交差点方向よりお越し下さい。（反対方向からは進入できません）

SIC-3 Innovation Lab.



交通アクセス

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）相模原愛川インターから3 km
- JR 相模線「上溝駅」から徒歩10分

株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd. (SIC)

SIC-1 Startup Lab. / SIC-2 Creation Lab. / R&D Lab.

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21

SIC-3 Innovation Lab.

〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝1880番-2

Tel:042-770-9119 (代) Fax:042-770-9077

URL <https://www.sic-sagamihara.jp>